2023
発行日 毎月1日 通算発行 445号
5

協会報

今月のトピックス
馳　浩知事を表敬訪問

最近の完成工事から
兼六駐車場のリニューアルオープン
～「兼六園下交差点周辺整備事業」による建替え～

石川県土木部都市計画課

≪石川の工芸シリーズ㊾≫　　小松市立博物館蔵

鶉籠火屋香炉

初代 徳田 八十吉【明治6(1873)年－昭和31(1956)年】

制作年／昭和中期　サイズ／胴径28.0×高さ29.1cm　技法／陶磁

「夕されば野辺の秋風身にしみて鶉鳴くなり深草の里」藤原俊成―。鶉は秋に渡来し、平地の草原、稲田に群れをなして棲むキジ科の鳥。豊穣を表す実りの穂を垂れた粟と鶉の組み合わせは、やきものの文様としても古九谷以来、もっとも好まれた組み合わせであった。江戸時代、鶉合わせ用の飼育が流行し、籠には金象嵌や、金銀をちりばめた優美なものも作られた。本作はその流れを汲む作品で、鶉が香炉になっている。

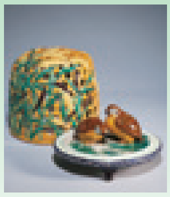
（文／小松市立博物館学芸員　坂下雅子）

"未来"を創り"ふる里"を守る建設産業
発行所●一般社団法人 石川県建設業協会
〒921-8036　金沢市弥生2丁目1番23号
TEL（076）242-1161（代）　FAX（076）241-9258
URL-http://www.ishikenkyo.or.jp/

CONTENTS

2023

5



≪石川の工芸シリーズ㊾≫
鶉籠火屋香炉（うずらかごほやこうろ）
初代 徳田 八十吉（とくだ やそきち）

1 今月のトピックス
馳 浩知事を表敬訪問 ……… 2

2 最近の完成工事から
兼六駐車場のリニューアルオープン ～「兼六園下交差点周辺整備事業」による建替え～
石川県土木部都市計画課 ……… 4

3 令和4年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.9
北陸地建株式会社 ……… 6
令和4年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.10
加越建設株式会社 ……… 8

4 雇用改善コーナー
第12回建設技術者のためのスキルアップセミナーの開催 ……… 10

5 2022年度第4回 建設業景況調査（石川県版）
東日本建設業保証(株) 石川支店 ……… 11

6 地区協会コーナー
加賀高校2年生への「建設業界説明会」と「建設現場見学会」の実施
(一社)加賀建設業協会 ……… 12

7 今月の「輝き！」さん No.98
株式会社岡組 山岸 亮さん ……… 13

8 協会だより
石川の建設業の雇用と経営に関する調査報告書(2022 概要版) ……… 14
委員会の開催 ……… 28
土木委員会
正副委員長会議の開催 ……… 28
土地改良委員会
正副委員長・部会長会議の開催 ……… 28
広報・研修委員会
企画部会の開催 ……… 29
安全・環境対策特別委員会
正副委員長会議の開催 ……… 29
建設技術研修所
新入社員向けIT講習会の開催 ……… 30
遠隔臨場講習会の開催 ……… 31
第45回測量コンテスト開催案内 ……… 31

9 石川県土木施工管理技士会だより
第1回正副会長会議の開催 ……… 32

10 業界時報
労働災害発生状況 ……… 33
令和4年度 建設工事受注高調（元請） ……… 33

11 会員の異動 ……… 34

12 県協会からのお知らせ ……… 34

13 地区協会からのお知らせ ……… 35

今月のトピックス

馳　浩知事を表敬訪問

4月21日(金)、平櫻　保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸　勇専務理事の5名が県庁を訪れ、馳　浩知事を表敬訪問した。

馳知事との懇談

平櫻会長から、災害に負けない強靭な県土づくりをはじめとした公共事業予算の確保、設計労務単価の早期設定、県奨学金返還助成制度の改定等について御礼を申し上げた。続いて、人材不足など業界が抱える課題をお伝えするとともに、公共事業予算の持続的・安定的な確保、地元建設企業の受注機会の拡大等を要望した。

馳知事は、「地元建設産業の重要性は十分理解している。国土強靭化は、継続的に実施しなければならない施策であり、政府と連携して予算確保に努める。」と述べられた。その後、和やかに懇談が行われた。

知事表敬に引き続き、徳田　博副知事を訪問した。

徳田副知事との懇談

知事表敬後、鈴見裕司土木部長（他 土木部幹部）及び吉田健一農林水産部参事（他 農林水産部幹部）への挨拶を行った。その席上、公共事業予算の確保への感謝の意を伝えるとともに、地元建設企業の受注機会の拡大、工事発注・施工時期の平準化、協会員参加型の家畜防疫訓練の実施等を要望した。

土木部幹部との懇談

農林水産部幹部との懇談

自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

自転車に乗るなら必ずヘルメット

●自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しましょう。

●自転車が原因となる高額賠償事故が発生しています。万一の事故に備えて保険に加入しましょう。

●二人乗り、並進、傘差し、スマートフォン・イヤホン使用等の危険な運転はやめましょう。

●乗車前の点検と自転車安全整備士による定期的な点検整備を受けましょう。

自転車安全利用五則

1　車道が原則、左側を通行
　　歩道は例外、歩行者を優先
2　交差点では信号と一時停止を守って、
　　安全確認
3　夜間はライトを点灯
4　飲酒運転は禁止
5　ヘルメットを着用

最近の完成工事から

兼六駐車場のリニューアルオープン
～「兼六園下交差点周辺整備事業」による建替え～

石川県土木部都市計画課

1　はじめに

兼六駐車場は、城下町金沢の象徴である特別名勝・兼六園に隣接した大型駐車場として昭和49年に供用を開始しました。

乗用車や観光バスで金沢を訪れる観光客の玄関口として、多くの方々に利用されていましたが、供用から半世紀近くが経過し、施設が老朽化したことに加え、乗用車の大型化により、駐車スペースや通路に余裕がなく、利用者にとって不便な状況となっていました。

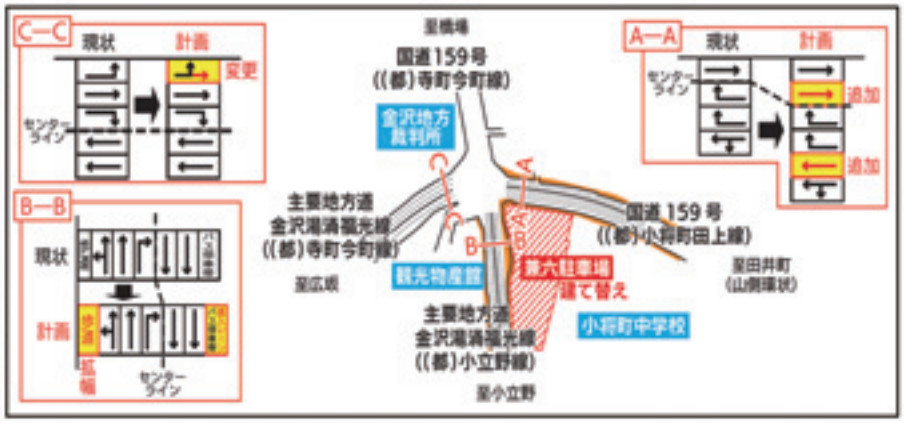
さらに、駐車場が面する兼六園下交差点において、慢性的な交通渋滞が発生していたことから、平成26年度より、駐車場の建替えと交差点の拡幅整備を一体的に実施する「兼六園下交差点周辺整備事業」に着手しました。

建替えにあたっては、工事期間中も可能な限り駐車台数を確保するため、段階的に整備を進めて順次供用し、令和5年3月に駐車場全体の完成を迎えました。

写真－1　完成した兼六駐車場

写真－2　旧兼六駐車場

図－1　周辺位置図



図－2　兼六園下交差点の拡幅整備（R6春完成予定）

2　施設概要

事業箇所：金沢市小将町

構　　造：鉄骨造5階建て

敷地面積：約7,100㎡

延床面積：約23,800㎡

駐車台数：1階　観光バス40台、2階～5階　乗用車480台

付加機能：観光情報コーナー、休憩コーナー、まちのりポート（金沢市）、兼六園下交番（合築）等

3　整備概要

建物の外観については、瓦や土壁を意識したグレーやベージュを基調とする外壁に格子を施すなど、隣接する兼六園や金沢城公園など周辺の景観との調和にも配慮しました。

エントランス部には、情報発信機能を備えた観光情報コーナーや休憩コーナーを設けたほか、金沢市と連携し公共シェアサイクルの「まちのりポート」を設置したことに加え、ガラス張りのエレベーター塔の上層階からは金沢城の石川門を眺めることができるなど、様々な工夫を凝らしています。

また、兼六園下交番を合築し、駐車場前面にはゆとりある歩行空間を整備したことで、安全・安心の面でも充実が図られ、観光客をはじめとする、利用者の多様なニーズにお応えしています。

写真－3　観光情報コーナー

写真－4　休憩コーナー

写真－5　まちのりポート

写真－6　エレベーター塔の最上階

写真－7　兼六園下交番

4　おわりに

新たな兼六駐車場が、国内外から石川へお越しになる多くの方々に、歴史と文化の魅力が詰まった「兼六園周辺文化の森」を回遊していただく際の拠点として、賑わいの創出に寄与するとともに末永く親しんでいただけることを期待しています。

令和4年度　土木部優良建設工事　知事表彰の紹介

vol.9

施工企業名：北陸地建株式会社

■工　事　名　都市計画道路　小立野線（石引～小立野）
無電柱化推進工事（管路工）

■工 事 分 野　地中化工事

■施 工 場 所　金沢市石引3丁目～1丁目　地内

■工 事 概 要

施工延長　L=70m

プレキャストボックスカルバート工
（B1850×H600 直接基礎）　L=70m

管路埋設工　L=69m

ハンドホール設置工　N=2基

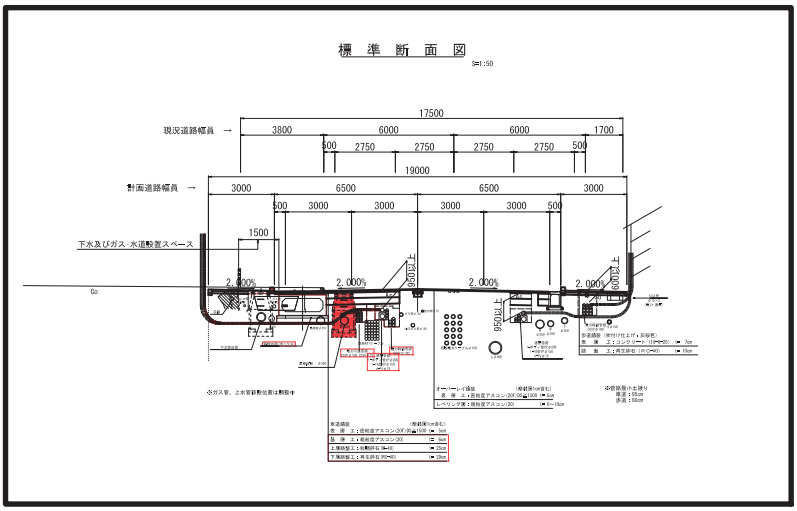
■工　　期　令和3年4月30日～令和4年3月11日

■推 薦 理 由

本工事は中学校や高校などの教育施設に加え、商店･住宅が近接し、車両・歩行者ともに多い区間での無電柱化工事である。

夜間工事時の騒音・振動対策に積極的に取り組むとともに、近隣住民の方々に毎週の工程表を配布し、地元との積極的なコミュニケーションを図りながら、事故無く良好な出来栄えで工事を完成させた。

さらに、工事区間内にWebカメラを設置することで、現場状況を常に確認することを可能とし、工事時間外での突発的な事象にも迅速に対応できるようにした。



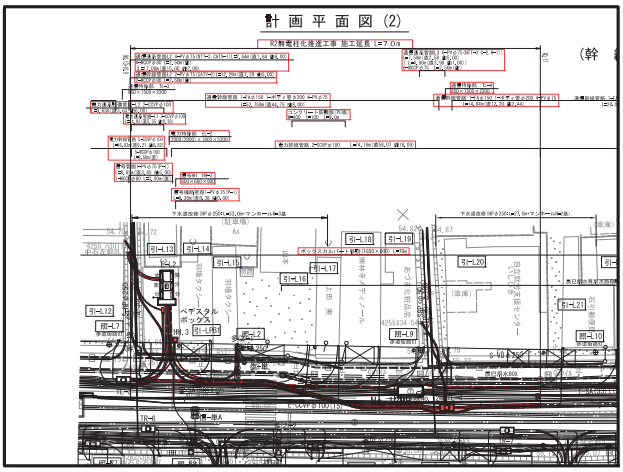
標準断面図

着工前①

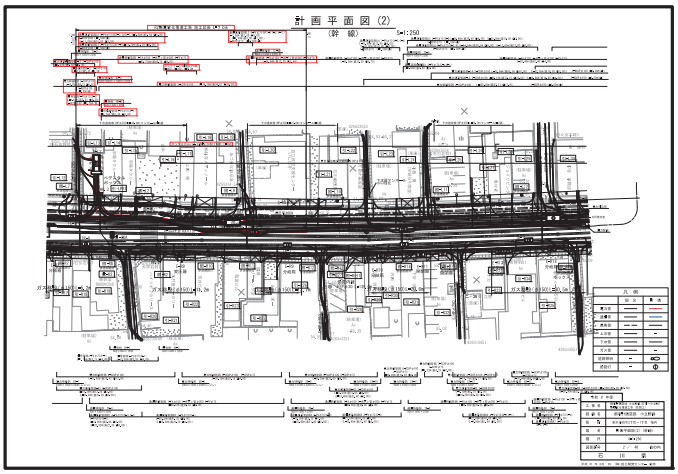
着工前②

完成①

完成②



計画平面図

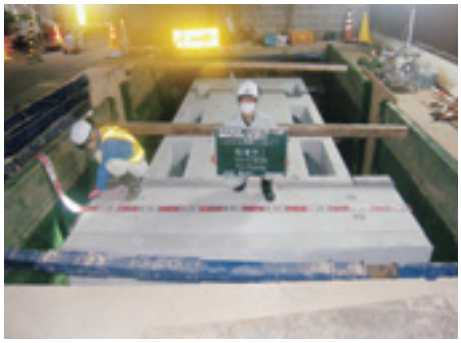


計画平面図全体

仮設歩行者通路の設置

辰巳用水を移設

電線管布設完了


電力管集約施設のハンドホール設置

■現場代理人のコメント

現場代理人
横川　亮氏

この度は、国土と交通等に関する知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。発注者の県央土木総合事務所監督員をはじめ、工事に関係する多くの皆様方の協力とご指導のおかげと深く感謝いたしております。

本工事は無電柱化工事の他に、辰巳用水の移設工事や下水道管と配水管の改良工事など多工種が絡むため、施工順序を検討する必要がありました。特に辰巳用水の施工時期については、非出水期にあたる10月からの施工開始となり、雨天時には用水が増水し、一時的に工事が中断する事もありましたが、作業員とも協力し工程の見直しを図り、天候に左右されない工程に変更しました。また、近隣住民の方々には積極的に挨拶を行い、日常の会話を大切にしてコミュニケーションを図っていたため、工程の変更が発生しても理解を頂きました。

これからも、このような賞を受賞できるように、一層の努力を惜しまず研鑽して参ります。本当にありがとうございました。

令和4年度　土木部優良建設工事　知事表彰の紹介

vol.10

施工企業名：加越建設株式会社

■工　事　名　一級河川前川　広域河川改修工事
（あいさつ橋左岸下部工）

■工 事 分 野　河川工事

■施 工 場 所　小松市今江町　地内

■工 事 概 要

橋梁下部工
　橋台工（逆Ｔ式橋台 H＝4.8m）　N=1基
　基礎工（現場打ち杭 φ1000mm L=16.0m）　N=4本
　旧橋撤去工　N=1式
　仮桟橋工　N=1式

■工　　期　令和2年10月9日～令和3年6月30日

■推 薦 理 由

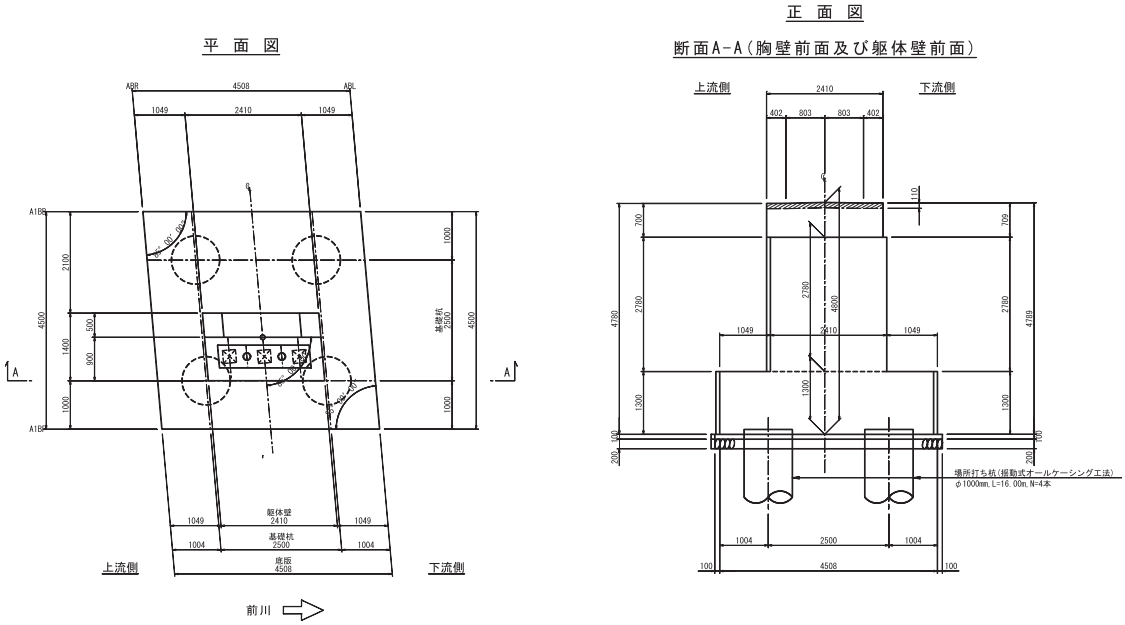
本工事は、前川の河川拡幅に伴い架け替えが必要となる、あいさつ橋（歩道橋）の下部工事である。

現場打ち杭の品質向上を図るため、地盤の不同沈下による杭の傾斜防止対策を実施したほか、打設中にはデジタル水平器によりケーシングの傾斜修正を行った。

また、水位情報をリアルタイムに監視できるwebカメラを設置し、水位上昇時にメールで巡回・緊急招集できる体制を整えるなどで安全性を確保し、良好な出来栄えで工事を完成した。

工事完成写真1

工事完成写真2



平面図、断面図

webカメラでの監視体制

デジタル水平器によるケーシングの傾斜確認

既設護岸撤去箇所の仮処置

杭打機設置箇所の地盤改良

再帰反射量水標

全周機据付箇所の鉄板の井桁設置

■現場代理人のコメント

現場代理人
北村真人氏

この度は、国土と交通等に関する知事表彰という大変名誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。これも南加賀土木総合事務所担当監督員並びに職員の皆様、地域の皆様方、工事関係者の方々の協力のおかげであると深く感謝申し上げます。

当該工事は、埋め戻し箇所に杭打機を設置し杭打ちを行うため不当沈下による杭の傾斜が考えられました。杭打機設置箇所の安定処理、井桁での鉄板設置を行い、打設中はデジタル水平器によりケーシングの確認を行うことで良好に工事を進められました。

また近接する住宅地での既設護岸を取り壊しての工事であるため、護岸取り壊し箇所は大型土のうの養生、webカメラでの現場状況の監視、地域の工事予定の連絡を密に行いました。地域との良好な関係を築くことができたことは自身にとっても大変価値のあることでした。

この賞を受賞したことを今後の励みとし、日々自己研鑽に努めて参りたいと思います。ありがとうございました。

雇用改善コーナー

第12回建設技術者のためのスキルアップセミナーの開催

開催日時　令和5年4月13日(木)　13：30～16：30
開催場所　金沢港クルーズターミナル　CIQエリア
参 加 者　約150名
主　　催　(一財)建設業技術者センター
共　　催　(一社)石川県建設業協会
後　　援　国土交通省北陸地方整備局、石川県
次　　第　第一部　「これからのインフラと建設業について」
　(一財)建設業技術者センター　理事長　谷口博昭
第二部　「石川県の働き方改革への取組み」
　石川県土木部監理課　技術管理室長　高橋雅憲
第三部　「建設現場の働き方改革～罰則付き時間外労働への対応」
　社会保険労務士法人「アスミル」　代表　櫻井好美

概　要

(一財)建設業技術者センターが主催する県内初のスキルアップセミナーを開催した。

第一部では、前土木学会会長の谷口博昭　理事長より、「国民の生活や経済社会の営みを支えるインフラの役割・意義、土木の裾野拡大と技術者の役割」についてご講演をいただいた。

引き続き、第二部では高橋雅憲室長より「石川県での働き方改革への取組」について、第三部では櫻井好美代表より「令和6年4月より建設業に適用される罰則付き時間外労働への対応」についてご講演をいただいた。

セミナー参加者からは、「大変有意義な講習だった。」「毎年開催してほしい。」「社会基盤について勉強になった。」等の声がよせられた。

開催状況

谷口博昭　理事長

高橋雅憲　室長

櫻井好美　代表

2022年度第4回　建設業景況調査（石川県版）

東日本建設業保証(株) 石川支店

＜概　要＞

○民間工事は、「減少」傾向が弱まっている。
　来期は、「減少」傾向が強まる見通し。

○資材の価格は、「上昇」傾向がやや弱まっている。
　来期は、「上昇」傾向が続く見通し。

○収益は、「減少」傾向が弱まっている。
　来期は、「減少」傾向がかなり強まる見通し。

【今期：前期（2022年10～12月）に比べた今期（2023年1～3月）の状況】
【来期：今期（2023年1～3月）に比べた来期（2023年4～6月）の状況】

項目		前期	今期		来期	
		B.S.I.値	推移方向（前期比）	B.S.I.値	推移方向（今期比）	B.S.I.値
(1)業況等	地元建設業界の景気※	▲9.5	⇗	▲7.5	⇘	▲10.5
(2)受注	受注総額※	▲9.0	⇗	▲6.5	⇘	▲20.5
	官公庁工事※	▲7.5	⇗	▲7.0	⇘	▲17.5
	民間工事※	▲12.5	⇗	▲5.5	⇘	▲15.0
(3)資材	資材の調達※	▲14.0	⇗	▲13.5	⇗	▲13.0
	資材の価格	40.5	⇘	37.5	⇘	37.0
(4)労務	建設労働者の確保※	▲21.5	⇘	▲23.0	⇗	▲22.0
	建設労働者の賃金	20.5	⇘	20.0	⇗	24.5
(5)収益	※	▲9.5	⇗	▲1.5	⇘	▲12.0

（注）・B.S.I.値のプラスは、良い、増加、容易、上昇の傾向を示す。
・B.S.I.値のマイナスは、悪い、減少、困難、下降の傾向を示す。
・表中の※印は、季節調整項目を示す。

【B.S.I.の見方】

B.S.I.（ビジネス・サーベイ・インデックス＝景況判断指数）は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。以下の計算式により数値化して求められます。

（「良い」と回答した企業割合－「悪い」と回答した企業割合）×1/2
※「変わらず」は除いて計算

お問い合わせ先
東日本建設業保証(株) 石川支店　TEL：076-242-1231

地区協会コーナー

加賀高校2年生への「建設業界説明会」と「建設現場見学会」の実施

(一社)加賀建設業協会

当協会土木委員会では、令和3年度から石川県立加賀高校の2年生を対象に、キャリア教育の一環として、高校生としての適正な職業観・就業観を育成するとともに、建設業界の担い手育成の一助となることを目的に、「建設業界説明会」と「建設現場見学会」をセットで開催しています。

49人を対象に実施した令和4年度の内容について、実施後の生徒の感想等も含め紹介します。

「建設業界説明会」（6月21日 実施）

土木委員会から8人のメンバーが加賀高校を訪問し、柴山潟遊歩道整備や動橋川河川改修工事などを例に、その目的や施工順序、仕事内容などの説明のほか、現状のスタイリッシュな作業服の展示と合わせ、空調服やアイスマンベストの試着なども行い、従来からの建設業に対する3K（きつい・汚い・危険）のイメージを払拭するとともに、事業の成果が地図に残り、人々に喜んでもらえるやりがいのある業界であることを紹介しました。

【生徒の感想】

・汗にまみれ、男性にしかできない仕事だと思っていたが、ドローンの活用やICT施工、電子納品など、最新のIT技術等を取り入れたスマートな仕事に、女性の方も多く従事していることを初めて知った。

・道路や橋を造る程度のイメージで、災害復旧工事や冬期間の除雪などは、今まで気に留めてもいなかったけれど、私たちの生活に深く関わっていて、建設業があってこその地域なんだと改めて実感した。

「建設現場見学会」（11月1日 実施）

最初の現場は「一般県道串加賀線道路改築工事」で、発注者の県南加賀土木総合事務所から液状化を防ぐ地盤改良工事の方法などの説明を受け、大型地盤改良機のデモンストレーションを見学しました。引き続き「加賀温泉駅前広場整備工事」の現場に移動し、市新幹線対策室から広場整備の目的や事業の概要について、施工事業者からは、現在の工事の内容や進捗状況等について説明を受けました。加賀温泉駅舎前では、温泉郷の風情を表現した紅殻格子の外観を見学し、待合室には加賀特有の赤瓦や九谷焼タイルが採用されていることなども説明を受け、新幹線駅開業に期待を膨らませました。

【生徒の感想】

・自分たちの暮らしの中で、安全や利便性を実現するために働く姿に、とてもグッときました。卒業後は就職を考えており、その際には社会や町に貢献できる職業を選択したいと思っていますが、その視野を広げるよい機会になりました。

今月の「輝き！」さん No. 98

株式会社岡組　山岸　亮さん

所　　属：工務部
経験年数：7年
年　　齢：28歳

金沢市泉本町2丁目の会社事務所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーあなたの会社について教えてください。

当社は、昭和28年に創業し、昨年70年を迎えた総合建設会社であり、学校等の公共施設をはじめ、福祉施設や商業施設等の様々な建築物を手掛けています。私は、工務部に所属し現場監督として日々頑張っています。

ー建設業を選んだ理由、入社の動機等について教えてください。

父や兄、姉の家族が建設関係の職業である環境で育ったので、自分も建築に興味を持ち、進路は自然と建築学科を選んでいました。勉強していくうちに現場監督の仕事に魅力を感じ、「自分でやってみたい」と強く思うようになり、21世紀美術館の施工に携わっていた弊社に魅力を感じて入社を決めました。

ーこれまでで思い出に残る現場、苦労した現場はありますか？

一番印象に残っているのは、2年前に金沢市森本地内で担当した精密機械工場の新築工事です。自分が入社してからの会社単独の工事の中では一番大きな現場であり、段取りを含め今まで学んできたことが試されたので様々な苦労がありました。苦労をした分完成した建物を見たときには達成感があり、思い入れのある現場になっています。

ー休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

今まではインドアの趣味ばかりでしたが、最近現場で職人さんと会話する中で勧められて釣りやキャンプといったアウトドアの趣味に興味を持ち、やったことがなかったので勉強しながら楽しんでいます。独身ですので、趣味を共有して休日を楽しく過ごせるパートナーを募集中です。

ー将来の夢、目標は？

直近の目標は、6月に1級建築施工管理技士試験があるので合格を目指して頑張っています。将来は石川県の有名な建築の工事に関わることができればと思っています。

ー最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

小さいころに得た自然な興味が現場監督という具体的な目標となり、壮大な建築物の施工に携われたからこそ感じることのできる、達成感や充実感を皆さんにもぜひ味わっていただきたいですし、ともに味わえたら最高です！

けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日　18：00～18：05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協 会 だ よ り

石川の建設業の雇用と経営に関する調査報告書(2022 概要版)

1．調査概要

(1) 調査の目的

建設業界の雇用の改善や若手技術者・技能者の入職・定着を促す方策を検討する基礎資料とすることを目的に、建設業の雇用実態や経営状況について調査を実施した。

(2) 調査の対象

一般社団法人石川県建設業協会の会員企業（大手企業は除く）

対象企業：209社

回答数：152社（回答率：72.7％）

(3) 調査の実施期間

令和4年8月30日～令和4年9月16日

(4) 調査の項目

①会社概要
②雇用について
③常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃金について
④建設現場における働き方改革（休日拡大と労働時間）について
⑤建設業における女性の活躍について
⑥資材高騰について
⑦採算性について
⑧発注者の対応について
⑨経営環境の見通しについて
⑩今後の建設業のあり方について（自由回答）

(注)各設問における回答の構成比の合計は、四捨五入の関係で100％にならない場合がある。

(5) 調査の方法

調査は(株)建設経営サービスに委託して実施した。調査票(エクセル)は会員企業宛に電子メールで依頼した。

(6) 地区の区分

会員企業の本社所在地により、「金沢地区」(金沢市)、「加賀地区」(金沢市以南の市町)、「能登地区」(金沢市以北の市町）とした。

2. 調査結果の概要

(1) 調査企業

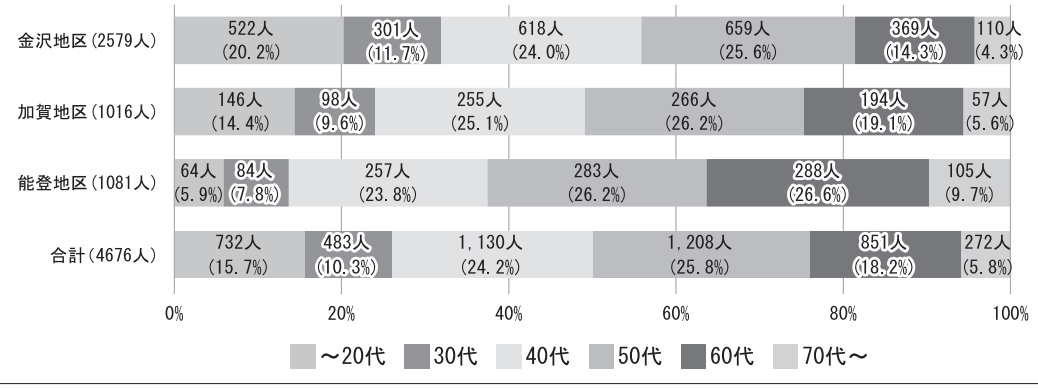
	金沢地区	加賀地区	能登地区	合計
土木	23社 (46.0%)	38社 (73.1%)	40社 (80.0%)	101社 (66.4%)
建築	14社 (28.0%)	4社 (7.7%)	0社 (0.0%)	18社 (11.8%)
土木・建築	4社 (8.0%)	7社 (13.5%)	9社 (18.0%)	20社 (13.2%)
舗装	9社 (18.0%)	3社 (5.8%)	1社 (2.0%)	13社 (8.6%)
合計	50社 (100.0%)	52社 (100.0%)	50社 (100.0%)	152社 (100.0%)

(2) 雇用関係

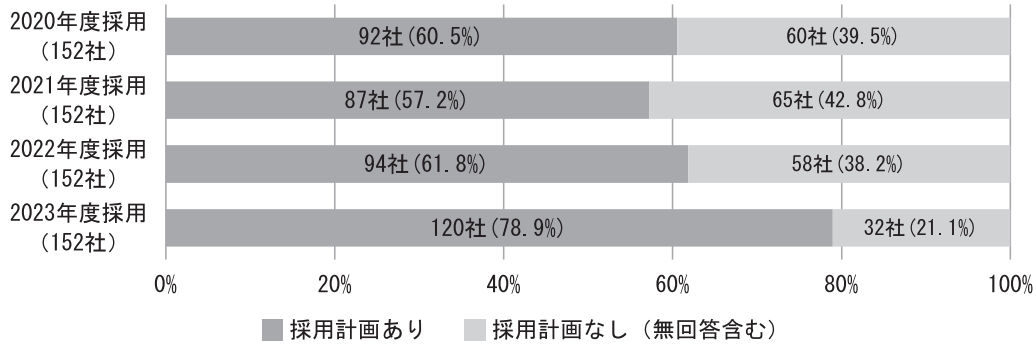
就業者数（職種別・年代別）割合

性別	職種	年齢						合計	構成比
		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～		
男性	役員	2人	19人	77人	107人	148人	79人	432人	(10.9%)
	技術職	371人	219人	564人	575人	381人	80人	2,190人	(55.1%)
	技能職	161人	92人	174人	196人	142人	47人	812人	(20.4%)
	事務･営業職	69人	59人	124人	159人	96人	31人	538人	(13.5%)
	合計	603人	389人	939人	1,037人	767人	237人	3,972人	(100.0%)
	構成比	(15.2%)	(9.8%)	(23.6%)	(26.1%)	(19.3%)	(6.0%)	(100.0%)	-
女性	役員	1人	3人	12人	19人	20人	21人	76人	(10.8%)
	技術職	55人	22人	29人	23人	4人	1人	134人	(19.0%)
	技能職	2人	0人	3人	0人	1人	0人	6人	(0.9%)
	事務･営業職	71人	69人	147人	129人	59人	13人	488人	(69.3%)
	合計	129人	94人	191人	171人	84人	35人	704人	(100.0%)
	構成比	(18.3%)	(13.4%)	(27.1%)	(24.3%)	(11.9%)	(5.0%)	(100.0%)	-
男女計	役員	3人	22人	89人	126人	168人	100人	508人	(10.9%)
	技術職	426人	241人	593人	598人	385人	81人	2,324人	(49.7%)
	技能職	163人	92人	177人	196人	143人	47人	818人	(17.5%)
	事務･営業職	140人	128人	271人	288人	155人	44人	1,026人	(21.9%)
	合計	732人	483人	1,130人	1,208人	851人	272人	4,676人	(100.0%)
	構成比	(15.7%)	(10.3%)	(24.2%)	(25.8%)	(18.2%)	(5.8%)	(100.0%)	-

就業者の年代別構成比（地区別）



採用計画の有無について

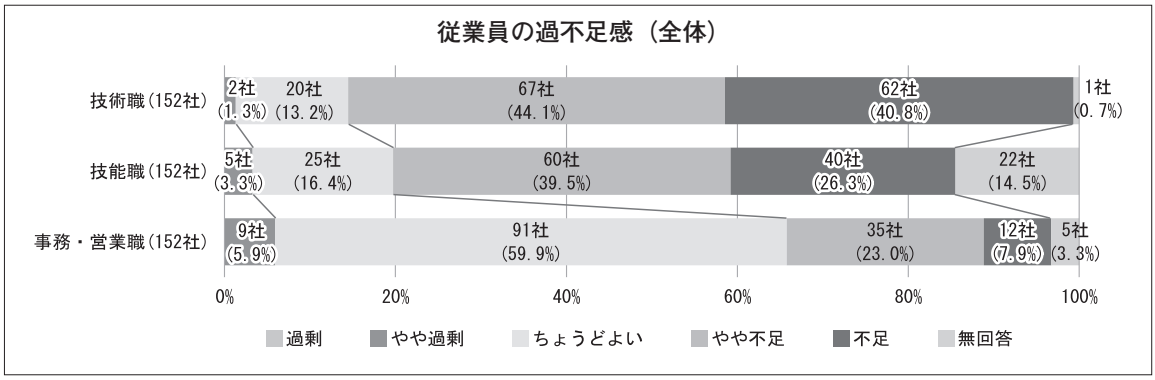


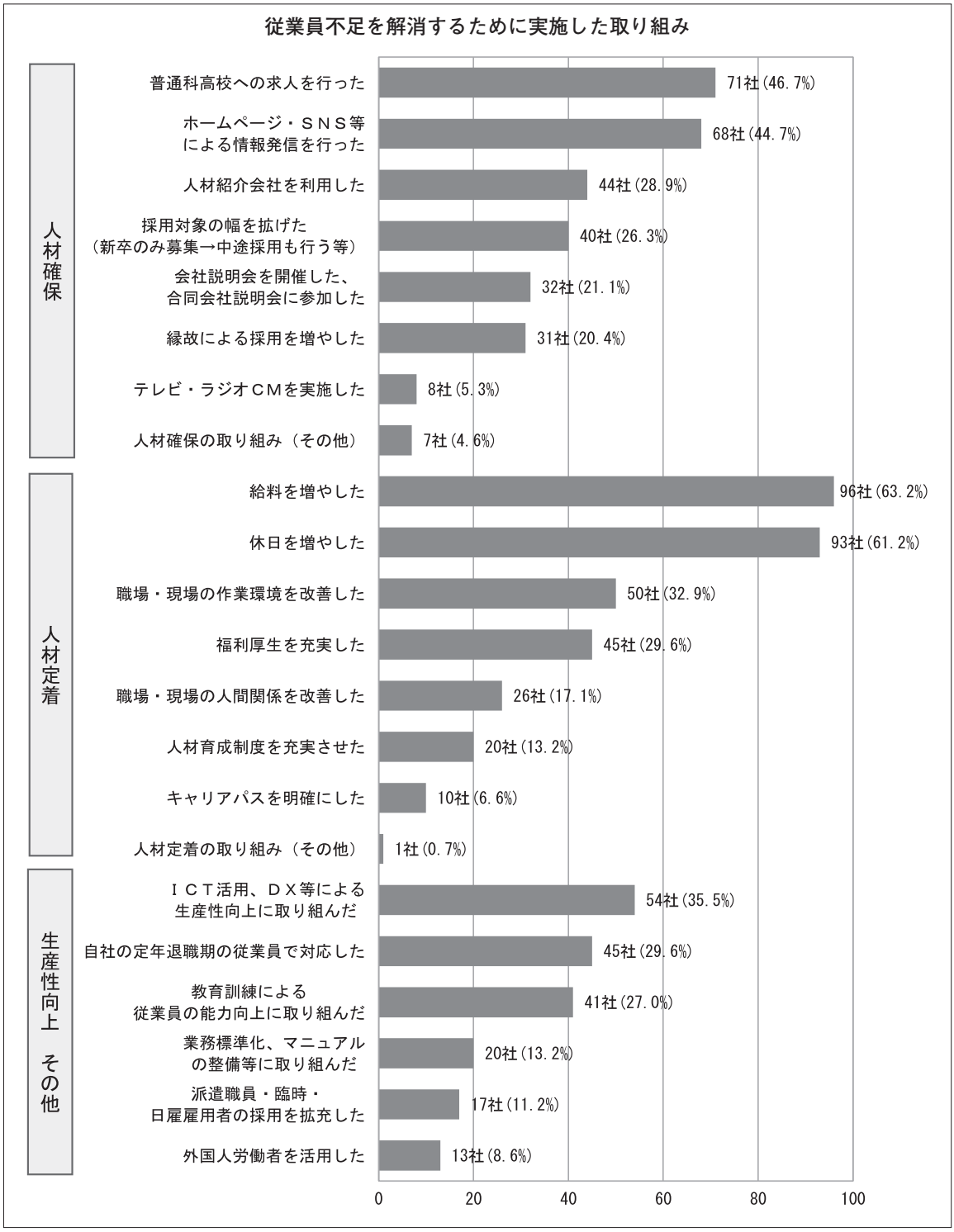
採用計画数に対する採用人数

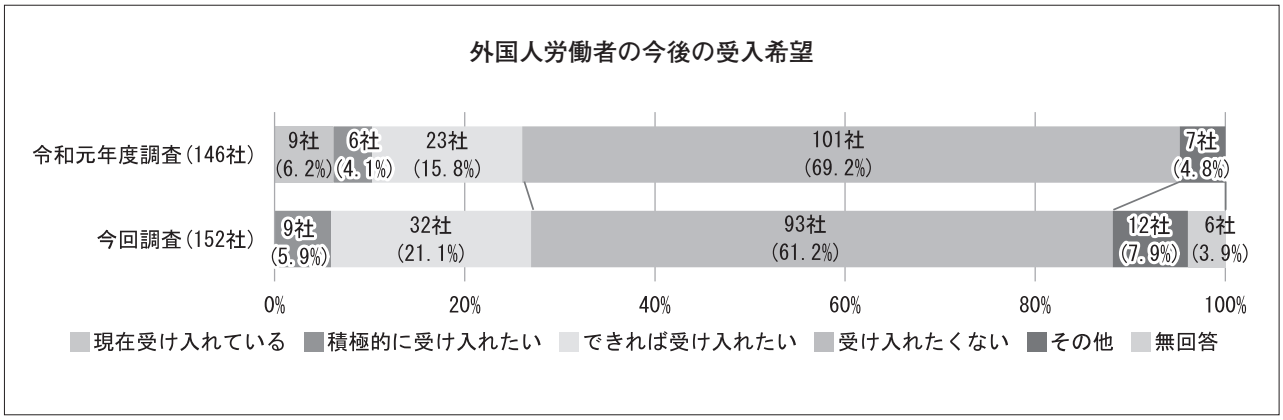
採用区分／採用年次			2020年度採用		2021年度採用		2022年度採用	
			採用人数／計画数	充足率	採用人数／計画数	充足率	採用人数／計画数	充足率
技術職	新卒	高校新卒	39 ／ 104	37.5%	30 ／ 101	29.7%	37 ／ 105	35.2%
		短大・高専新卒	5 ／ 28	17.9%	6 ／ 26	23.1%	4 ／ 30	13.3%
		大学・大学院新卒	13 ／ 60	21.7%	27 ／ 59	45.8%	31 ／ 53	58.5%
		小計	57 ／ 192	29.7%	63 ／ 186	33.9%	72 ／ 188	38.3%
	中途採用		61 ／ 104	58.7%	33 ／ 75	44.0%	29 ／ 73	39.7%
	技術職計		118 ／ 296	39.9%	96 ／ 261	36.8%	101 ／ 261	38.7%
技能職	新卒	高校新卒	13 ／ 45	28.9%	13 ／ 43	30.2%	12 ／ 40	30.0%
		短大・高専新卒	0 ／ 9	0.0%	0 ／ 7	0.0%	2 ／ 7	28.6%
		大学・大学院新卒	0 ／ 8	0.0%	0 ／ 8	0.0%	0 ／ 8	0.0%
		小計	13 ／ 62	21.0%	13 ／ 58	22.4%	14 ／ 55	25.5%
	中途採用		40 ／ 42	95.2%	63 ／ 42	150.0%	24 45	53.3%
	技能職計		53 ／ 104	51.0%	76 ／ 100	76.0%	38 ／ 100	38.0%
技術職・技能職計			171 ／ 400	42.8%	172 ／ 361	47.6%	139 ／ 361	38.5%
事務・営業職	新卒	高校新卒	3 ／ 3	100.0%	2 ／ 3	66.7%	5 ／ 4	125.0%
		短大・高専新卒	1 ／ 1	100.0%	3 ／ 2	150.0%	1 ／ 3	33.3%
		大学・大学院新卒	11 ／ 15	73.3%	8 ／ 14	57.1%	17 ／ 19	89.5%
		小計	15 ／ 19	78.9%	13 ／ 19	68.4%	23 ／ 26	88.5%
	中途採用		35 ／ 15	233.3%	32 ／ 10	320.0%	16 ／ 6	266.7%
	事務・営業職計		50 ／ 34	147.1%	45 ／ 29	155.2%	39 ／ 32	121.9%
新卒計			85 ／ 273	31.1%	89 ／ 263	33.8%	109 ／ 269	40.5%
中途計			136 ／ 161	84.5%	128 ／ 127	100.8%	69 ／ 124	55.6%
合　計			221 ／ 434	50.9%	217 ／ 390	55.6%	178 ／ 393	45.3%

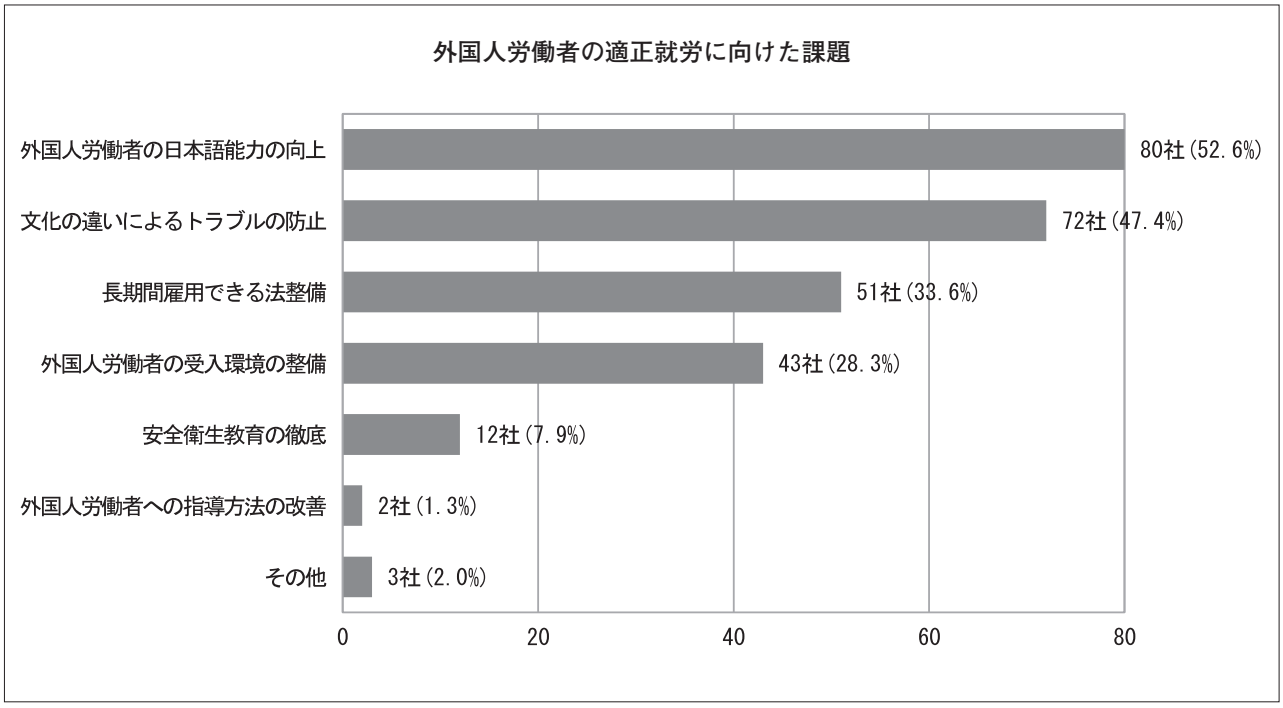
採用者の離職状況（全体）

採用年次/採用区分			採用数	2020年度		2021年度		2022年度		合計	
				離職数	離職率	離職数	離職率	離職数	離職率	離職数	離職率
2020年度採用	男性／女性	男性	233人	26人	11.2%	25人	10.7%	7人	3.0%	58人	24.9%
		女性	50人	3人	6.0%	5人	10.0%	4人	8.0%	12人	24.0%
	新卒／中途	新卒	112人	12人	10.7%	16人	14.3%	5人	4.5%	33人	29.5%
		中途	171人	17人	9.9%	14人	8.2%	6人	3.5%	37人	21.6%
	計		283人	29人	10.2%	30人	10.6%	11人	3.9%	70人	24.7%

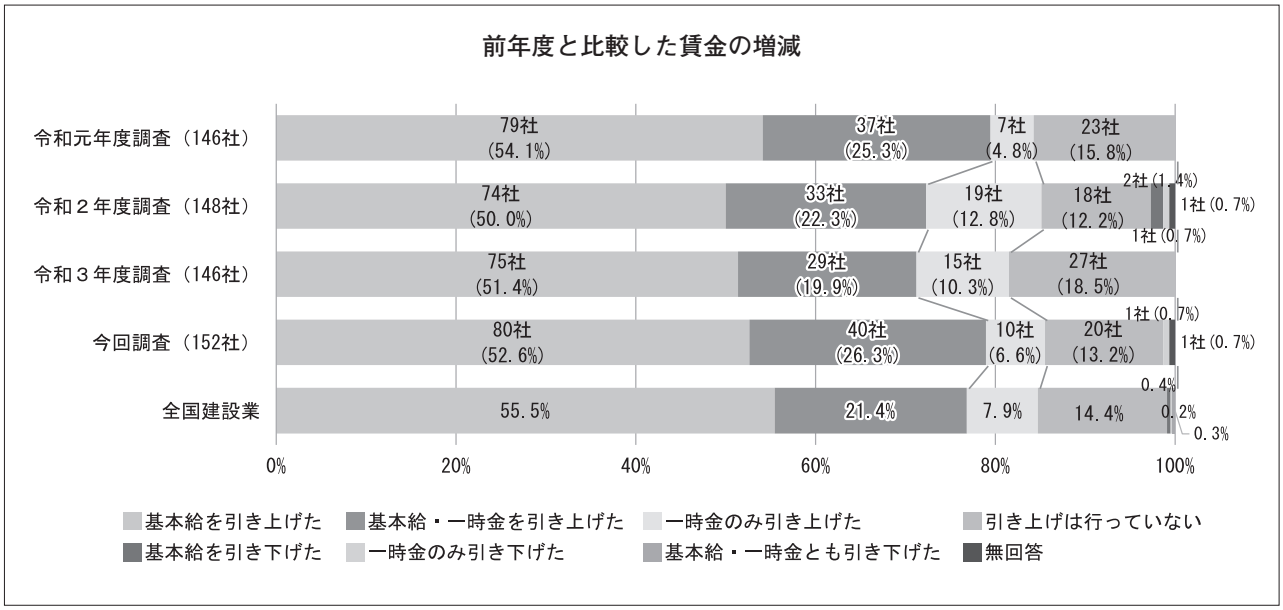

従業員の過不足感（全体）
技術職(152社)
2社 (1.3%)
20社 (13.2%)
67社 (44.1%)
62社 (40.8%)
1社 (0.7%)
技能職(152社)
5社 (3.3%)
25社 (16.4%)
60社 (39.5%)
40社 (26.3%)
22社 (14.5%)
事務・営業職(152社)
9社 (5.9%)
91社 (59.9%)
35社 (23.0%)
12社 (7.9%)
5社 (3.3%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
過剰
やや過剰
ちょうどよい
やや不足
不足
無回答

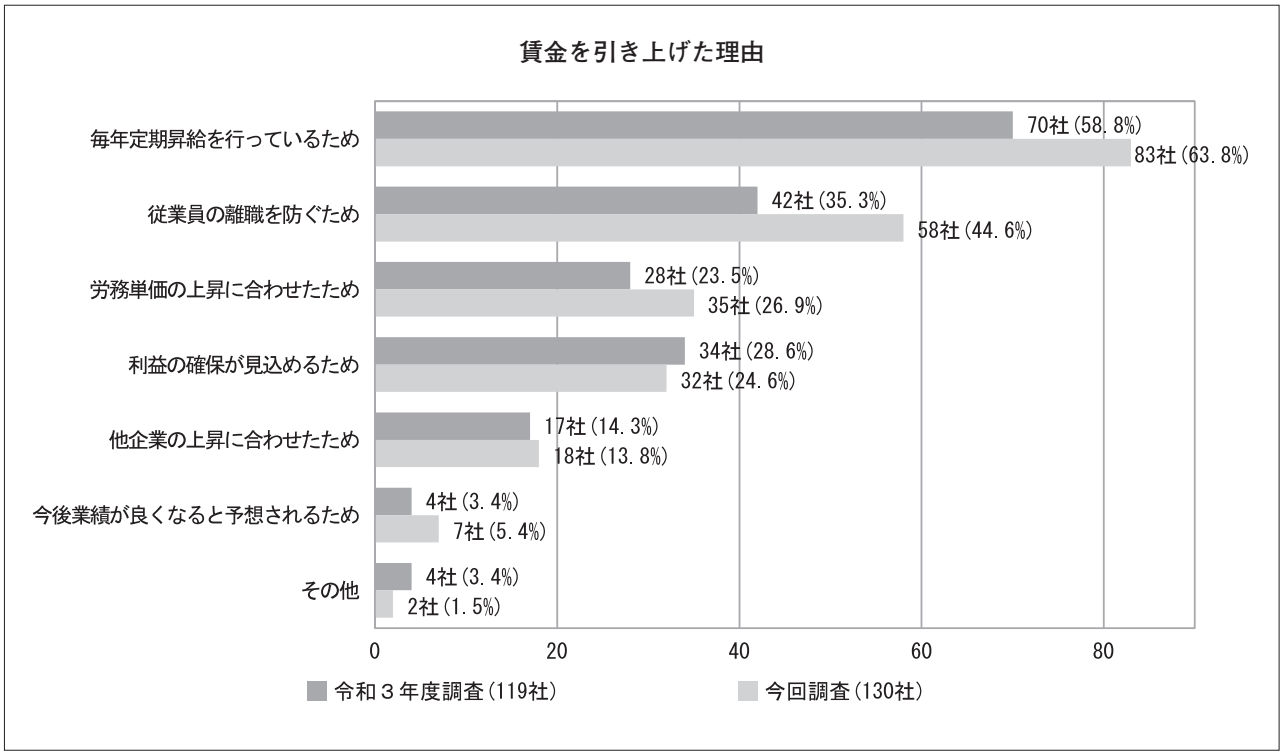

従業員不足を解消するために実施した取り組み
人材確保
普通科高校への求人を行った 71社(46.7%)
ホームページ・ＳＮＳ等による情報発信を行った 68社(44.7%)
人材紹介会社を利用した 44社(28.9%)
採用対象の幅を拡げた（新卒のみ募集→中途採用も行う等） 40社(26.3%)
会社説明会を開催した、合同会社説明会に参加した 32社(21.1%)
縁故による採用を増やした 31社(20.4%)
テレビ・ラジオＣＭを実施した 8社(5.3%)
人材確保の取り組み（その他） 7社(4.6%)
人材定着
給料を増やした 96社(63.2%)
休日を増やした 93社(61.2%)
職場・現場の作業環境を改善した 50社(32.9%)
福利厚生を充実した 45社(29.6%)
職場・現場の人間関係を改善した 26社(17.1%)
人材育成制度を充実させた 20社(13.2%)
キャリアパスを明確にした 10社(6.6%)
人材定着の取り組み（その他） 1社(0.7%)
生産性向上　その他
ＩＣＴ活用、ＤＸ等による生産性向上に取り組んだ 54社(35.5%)
自社の定年退職期の従業員で対応した 45社(29.6%)
教育訓練による従業員の能力向上に取り組んだ 41社(27.0%)
業務標準化、マニュアルの整備等に取り組んだ 20社(13.2%)
派遣職員・臨時・日雇雇用者の採用を拡充した 17社(11.2%)
外国人労働者を活用した 13社(8.6%)
0
20
40
60
80
100



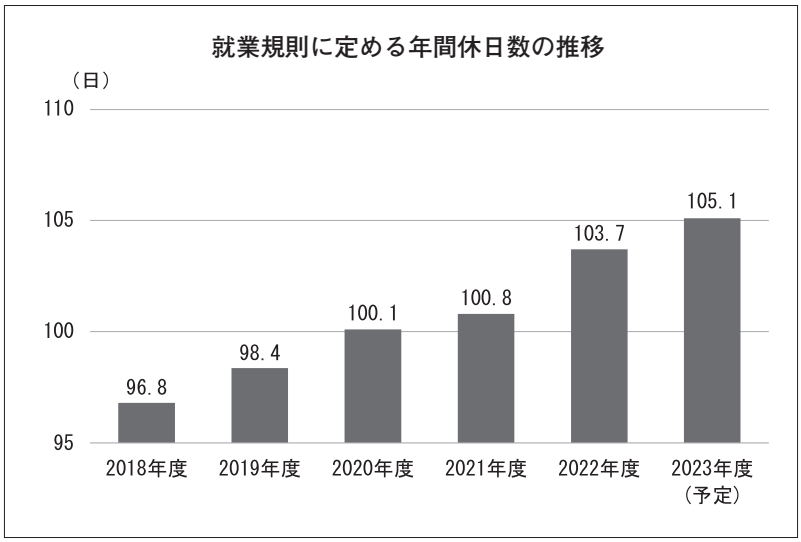


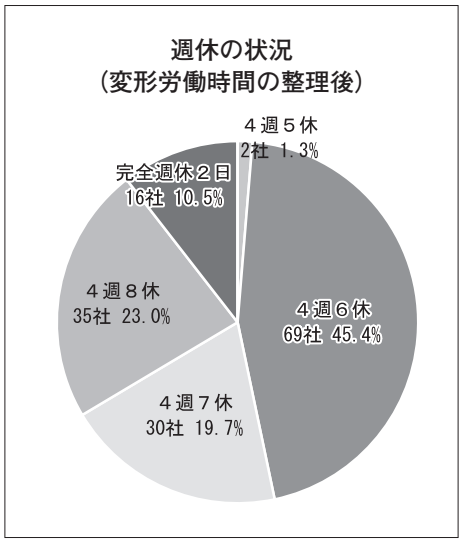
(3) 常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃金

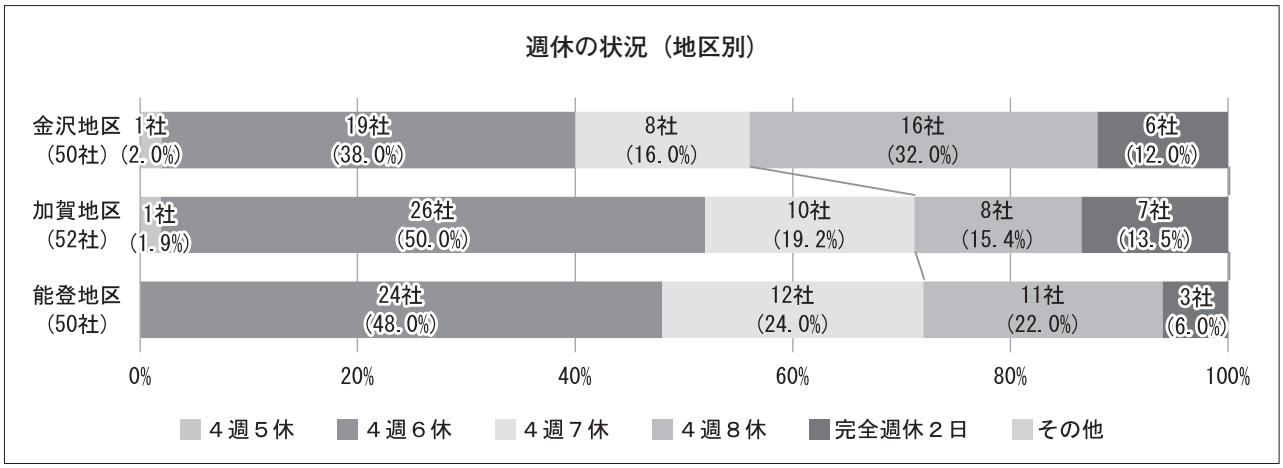


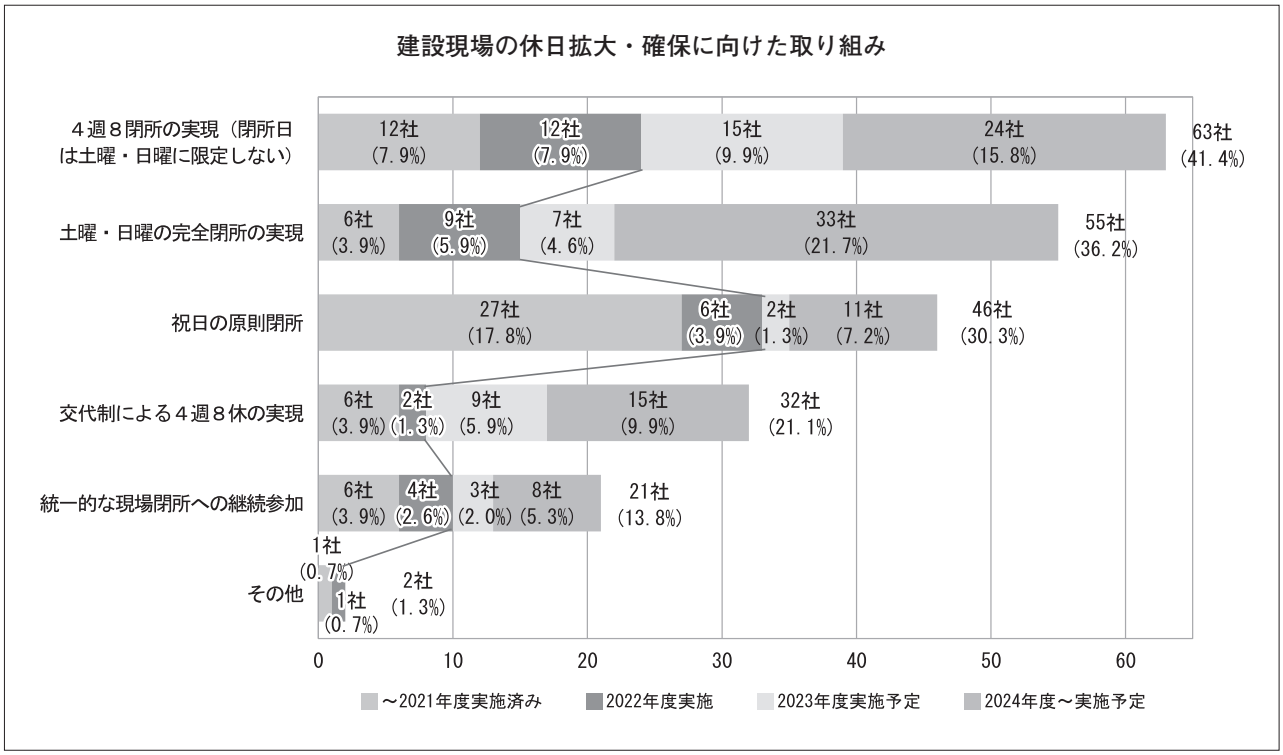


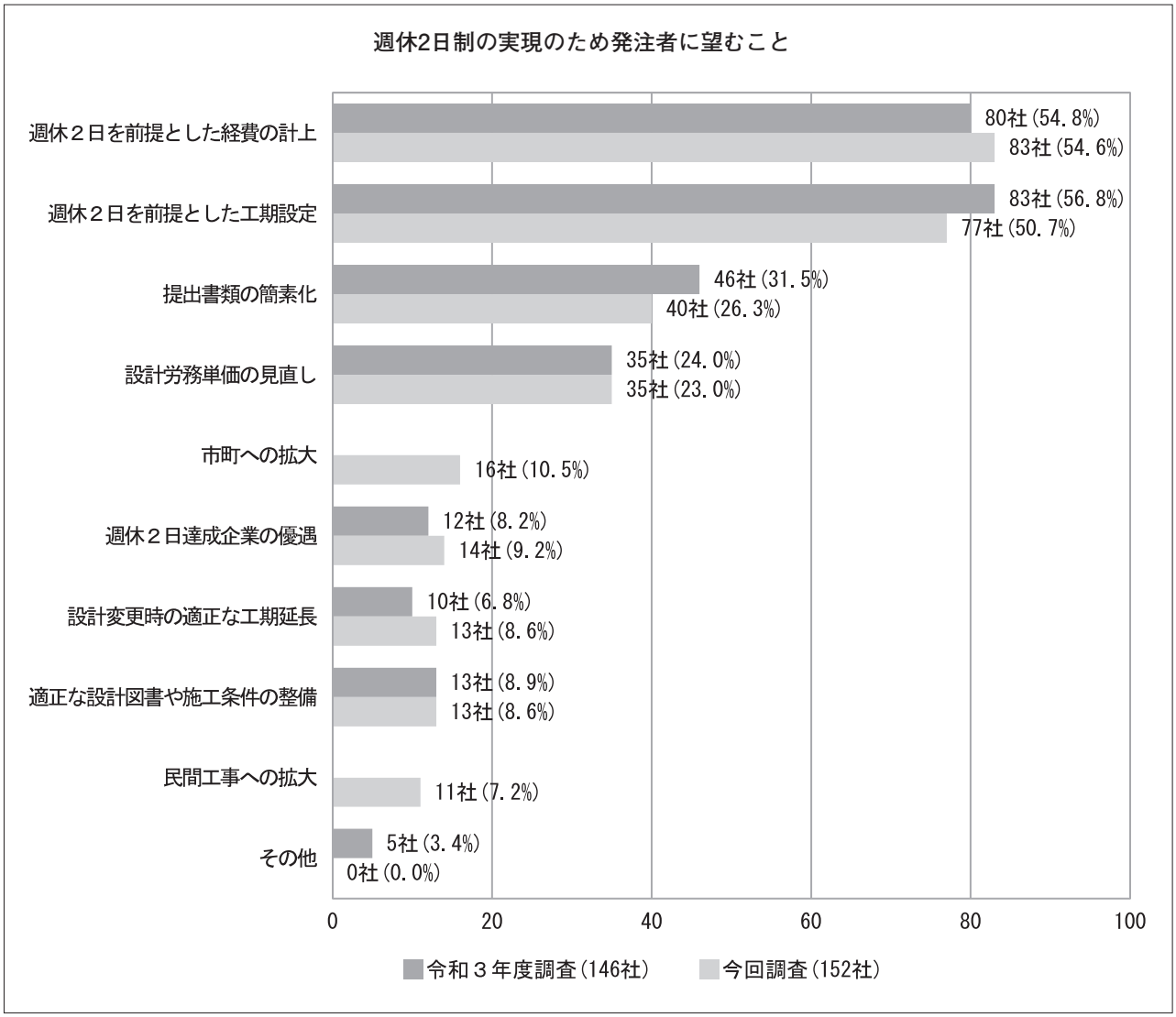
(4) 建設現場における働き方改革（休日拡大と労働時間）

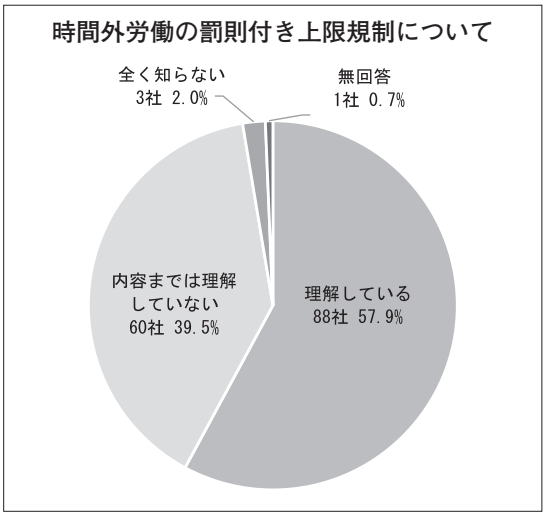


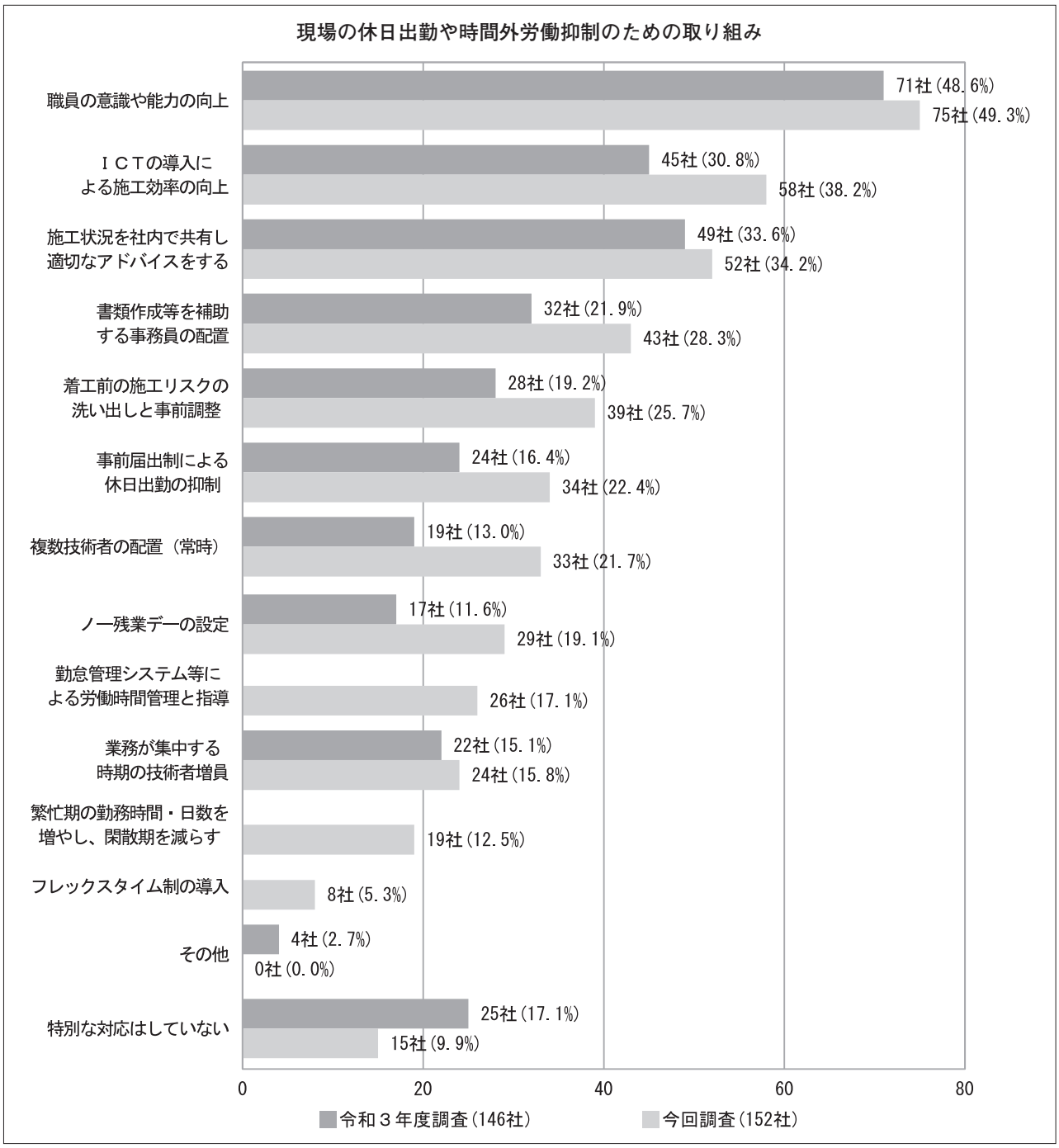




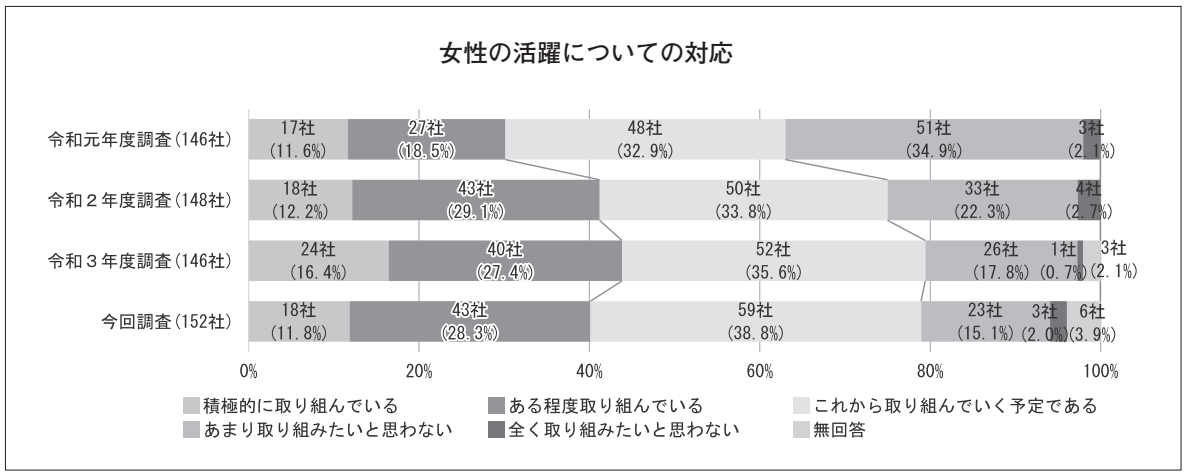

建設現場の休日拡大・確保に向けた取り組み
４週８閉所の実現（閉所日は土曜・日曜に限定しない）
土曜・日曜の完全閉所の実現
祝日の原則閉所
交代制による４週８休の実現
統一的な現場閉所への継続参加
その他
12社 (7.9%)
12社 (7.9%)
15社 (9.9%)
24社 (15.8%)
63社 (41.4%)
6社 (3.9%)
9社 (5.9%)
7社 (4.6%)
33社 (21.7%)
55社 (36.2%)
27社 (17.8%)
6社 (3.9%)
2社 (1.3%)
11社 (7.2%)
46社 (30.3%)
6社 (3.9%)
2社 (1.3%)
9社 (5.9%)
15社 (9.9%)
32社 (21.1%)
6社 (3.9%)
4社 (2.6%)
3社 (2.0%)
8社 (5.3%)
21社 (13.8%)
1社 (0.7%)
2社 (1.3%)
1社 (0.7%)
0
10
20
30
40
50
60
～2021年度実施済み
2022年度実施
2023年度実施予定
2024年度～実施予定

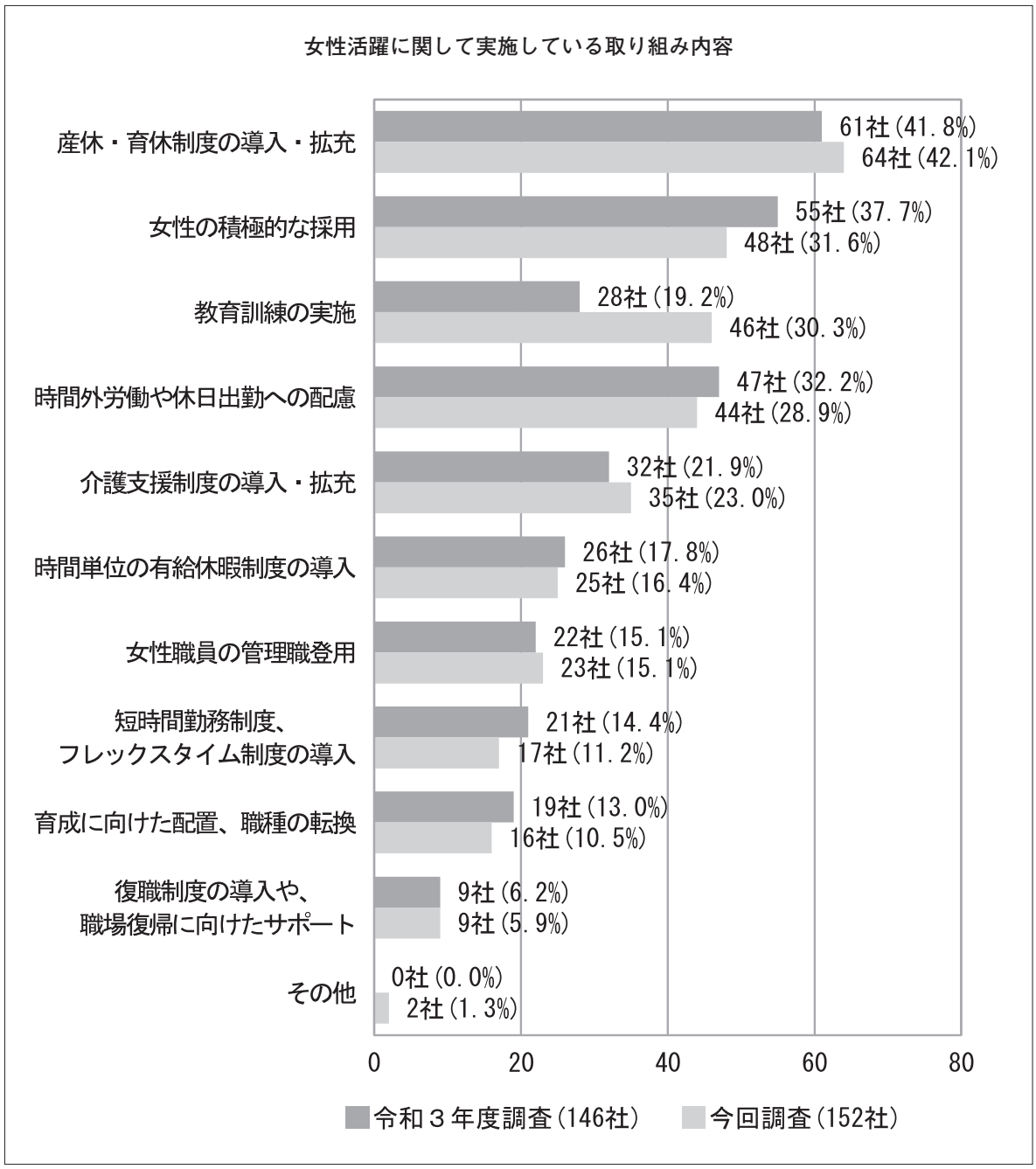

週休2日制の実現のため発注者に望むこと
週休２日を前提とした経費の計上
週休２日を前提とした工期設定
提出書類の簡素化
設計労務単価の見直し
市町への拡大
週休２日達成企業の優遇
設計変更時の適正な工期延長
適正な設計図書や施工条件の整備
民間工事への拡大
その他
80社 (54.8%)
83社 (54.6%)
83社 (56.8%)
77社 (50.7%)
46社 (31.5%)
40社 (26.3%)
35社 (24.0%)
35社 (23.0%)
16社 (10.5%)
12社 (8.2%)
14社 (9.2%)
10社 (6.8%)
13社 (8.6%)
13社 (8.9%)
13社 (8.6%)
11社 (7.2%)
5社 (3.4%)
0社 (0.0%)
0
20
40
60
80
100
令和３年度調査 (146社)
今回調査 (152社)


時間外労働の罰則付き上限規制について
全く知らない
3社 2.0%
無回答
1社 0.7%
内容までは理解
していない
60社 39.5%
理解している
88社 57.9%

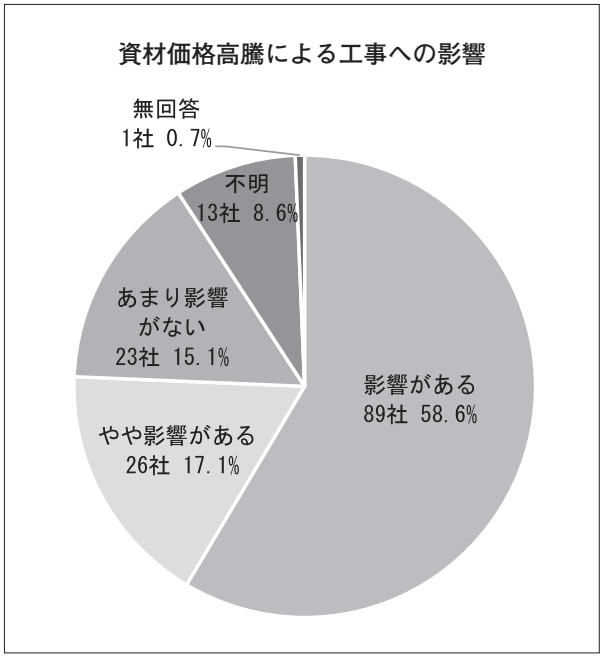

現場の休日出勤や時間外労働抑制のための取り組み
職員の意識や能力の向上
71社(48.6%)
75社(49.3%)
ＩＣＴの導入による施工効率の向上
45社(30.8%)
58社(38.2%)
施工状況を社内で共有し適切なアドバイスをする
49社(33.6%)
52社(34.2%)
書類作成等を補助する事務員の配置
32社(21.9%)
43社(28.3%)
着工前の施工リスクの洗い出しと事前調整
28社(19.2%)
39社(25.7%)
事前届出制による休日出勤の抑制
24社(16.4%)
34社(22.4%)
複数技術者の配置（常時）
19社(13.0%)
33社(21.7%)
ノー残業デーの設定
17社(11.6%)
29社(19.1%)
勤怠管理システム等による労働時間管理と指導
26社(17.1%)
業務が集中する時期の技術者増員
22社(15.1%)
24社(15.8%)
繁忙期の勤務時間・日数を増やし、閑散期を減らす
19社(12.5%)
フレックスタイム制の導入
8社(5.3%)
その他
4社(2.7%)
0社(0.0%)
特別な対応はしていない
25社(17.1%)
15社(9.9%)
0
20
40
60
80
令和３年度調査(146社)
今回調査(152社)

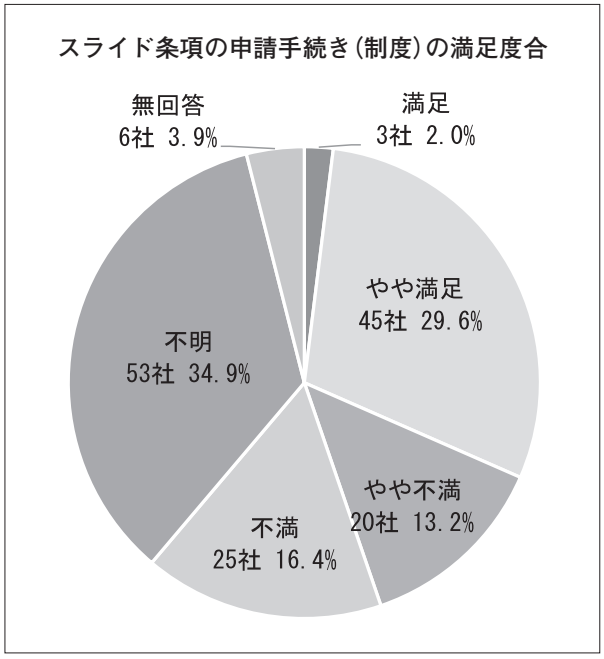
(5) 建設業における女性の活躍



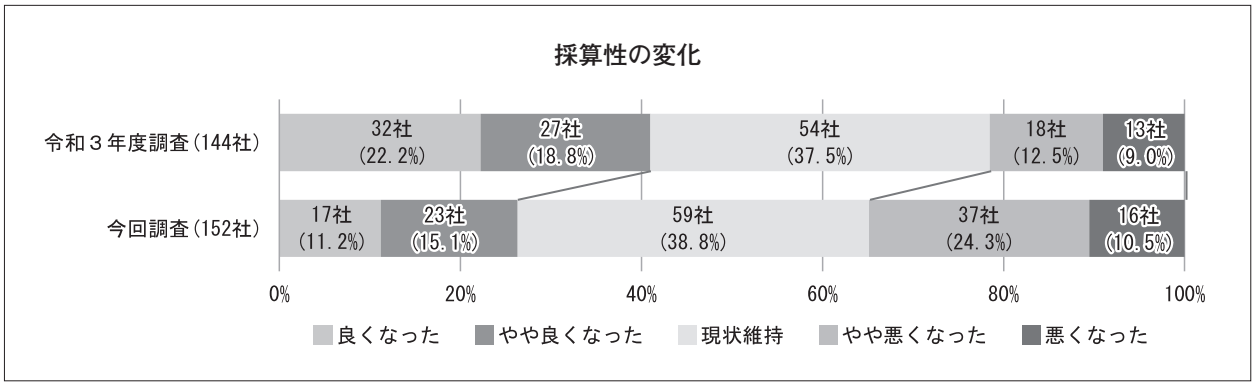


(6) 資材高騰





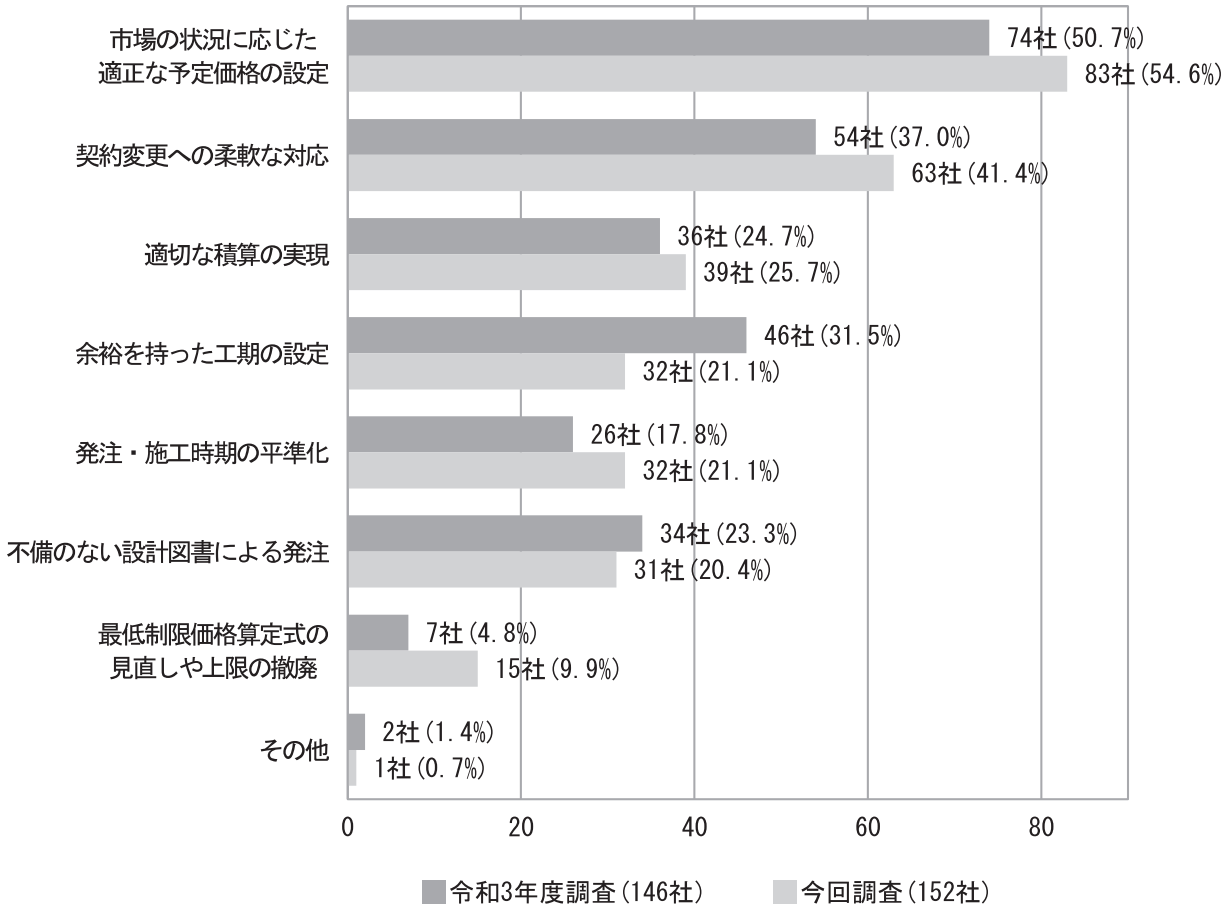
(7) 採算性



赤字の発生理由

項目	北陸地整（土木）4社	石川県（土木）26社	石川県（建築）2社	石川県（農林水産）22社	石川県内の市・町 33社
労務費の値上がり	0社 (0.0%)	7社 (26.9%)	1社 (50.0%)	5社 (22.7%)	6社 (18.2%)
材料費の値上がり	0社 (0.0%)	10社 (38.5%)	1社 (50.0%)	6社 (27.3%)	8社 (24.2%)
発注者の積算漏れ	1社 (25.0%)	1社 (3.8%)	0社 (0.0%)	4社 (18.2%)	6社 (18.2%)
積算単価の乖離	0社 (0.0%)	13社 (50.0%)	1社 (50.0%)	8社 (36.4%)	17社 (51.5%)
増額変更が無かった	1社 (25.0%)	6社 (23.1%)	0社 (0.0%)	11社 (50.0%)	13社 (39.4%)
発注者都合の工期延長	2社 (50.0%)	4社 (15.4%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	2社 (6.1%)
発注者都合の着工遅れ	2社 (50.0%)	3社 (11.5%)	0社 (0.0%)	2社 (9.1%)	1社 (3.0%)
発注者の対応（ワンデーレスポンス）が不十分	1社 (25.0%)	1社 (3.8%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	1社 (3.0%)
受発注者間の情報共有不足	0社 (0.0%)	3社 (11.5%)	0社 (0.0%)	1社 (4.5%)	1社 (3.0%)
その他	1社 (25.0%)	4社 (15.4%)	0社 (0.0%)	5社 (22.7%)	6社 (18.2%)

公共工事の利益確保のための発注者に望むこと

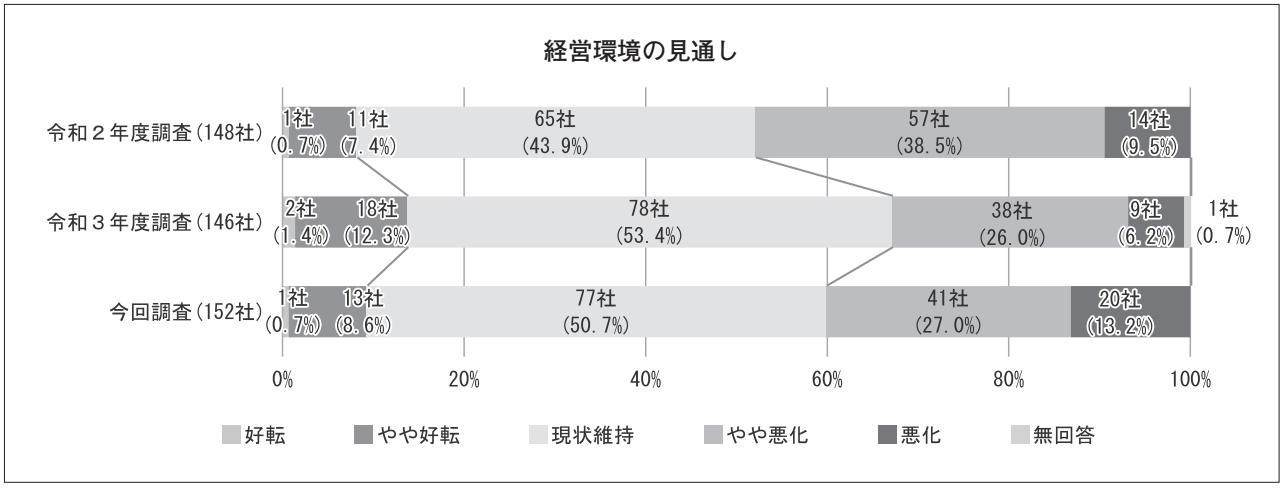


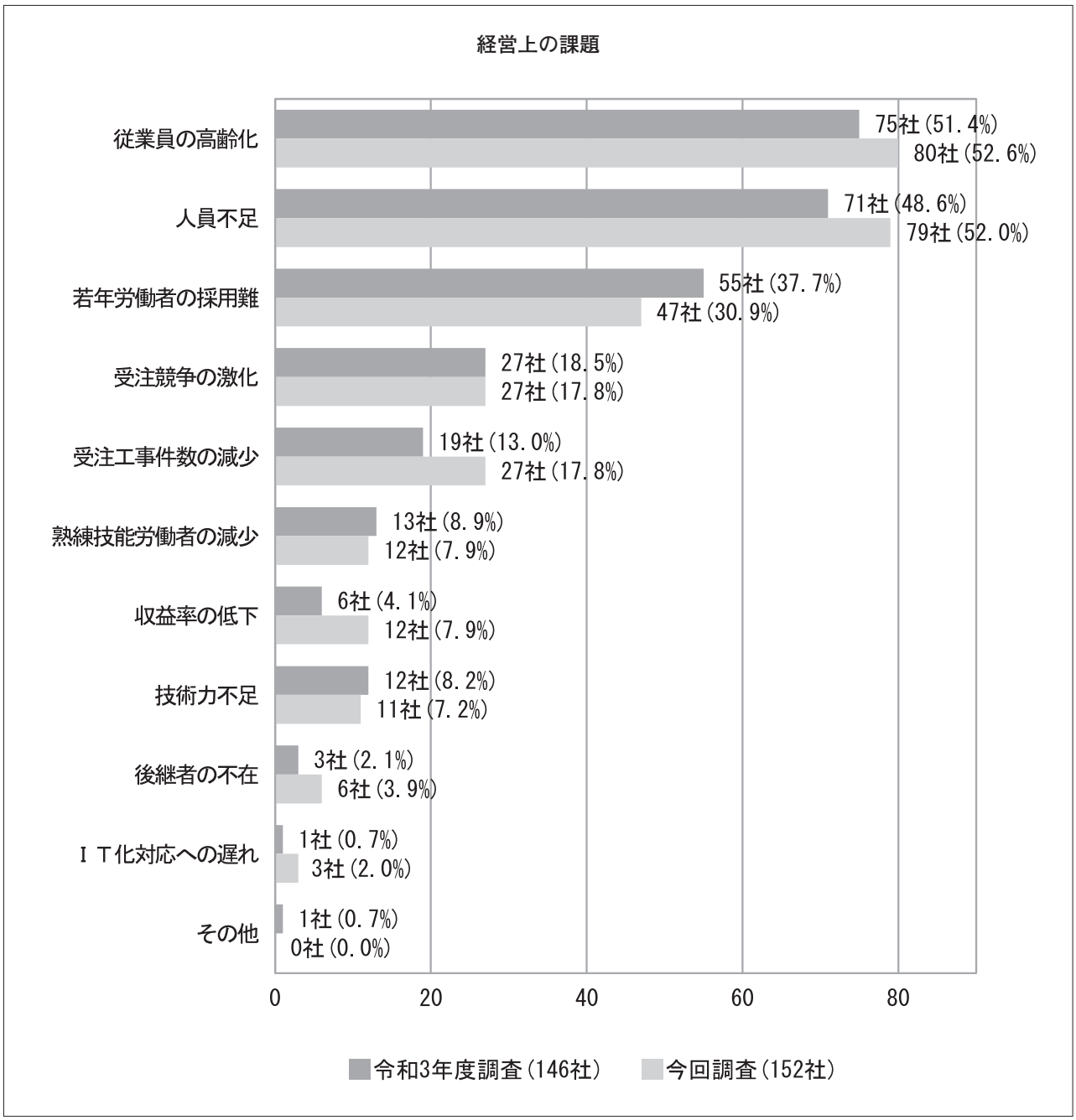
(8) 発注者の対応

発注者の対応について

	北陸地方整備局 28社			石川県 138社			石川県内の市・町 136社		
	良い	普通	悪い	良い	普通	悪い	良い	普通	悪い
① 予定価格の設定	12社 (42.9%)	16社 (57.1%)	0社 (0.0%)	28社 (20.3%)	101社 (73.2%)	9社 (6.5%)	18社 (13.2%)	91社 (66.9%)	27社 (19.9%)
② 工期の設定	8社 (28.6%)	18社 (64.3%)	2社 (7.1%)	22社 (15.9%)	103社 (74.6%)	13社 (9.4%)	15社 (11.0%)	102社 (75.0%)	19社 (14.0%)
③ 設計変更への対応（請負代金）	15社 (53.6%)	13社 (46.4%)	0社 (0.0%)	21社 (15.2%)	108社 (78.3%)	9社 (6.5%)	6社 (4.4%)	88社 (64.7%)	42社 (30.9%)
④ 設計変更への対応（工期）	13社 (46.4%)	14社 (50.0%)	1社 (3.6%)	17社 (12.3%)	105社 (76.1%)	16社 (11.6%)	10社 (7.4%)	99社 (72.8%)	27社 (19.9%)
⑤ 発注・施工時期の平準化	5社 (17.9%)	21社 (75.0%)	2社 (7.1%)	15社 (10.9%)	81社 (58.7%)	42社 (30.4%)	2社 (1.5%)	82社 (60.3%)	52社 (38.2%)
⑥ 受発注者間の情報共有（三者会議等）	8社 (28.6%)	19社 (67.9%)	1社 (3.6%)	20社 (14.5%)	104社 (75.4%)	14社 (10.1%)	10社 (7.4%)	103社 (75.7%)	23社 (16.9%)
⑦ 発注者の対応（ワンデーレスポンス）	7社 (25.0%)	19社 (67.9%)	2社 (7.1%)	19社 (13.8%)	90社 (65.2%)	29社 (21.0%)	9社 (6.6%)	91社 (66.9%)	36社 (26.5%)
⑧ 工事工程表や現場施工条件の明示	8社 (28.6%)	18社 (64.3%)	2社 (7.1%)	16社 (11.6%)	112社 (81.2%)	10社 (7.2%)	7社 (5.1%)	113社 (83.1%)	16社 (11.8%)

(9) 経営環境の見通し


経営環境の見通し
令和２年度調査(148社)
令和３年度調査(146社)
今回調査(152社)
1社 (0.7%)
11社 (7.4%)
65社 (43.9%)
57社 (38.5%)
14社 (9.5%)
2社 (1.4%)
18社 (12.3%)
78社 (53.4%)
38社 (26.0%)
9社 (6.2%)
1社 (0.7%)
1社 (0.7%)
13社 (8.6%)
77社 (50.7%)
41社 (27.0%)
20社 (13.2%)
0%
20%
40%
60%
80%
100%
好転
やや好転
現状維持
やや悪化
悪化
無回答


経営上の課題
従業員の高齢化
75社 (51.4%)
80社 (52.6%)
人員不足
71社 (48.6%)
79社 (52.0%)
若年労働者の採用難
55社 (37.7%)
47社 (30.9%)
受注競争の激化
27社 (18.5%)
27社 (17.8%)
受注工事件数の減少
19社 (13.0%)
27社 (17.8%)
熟練技能労働者の減少
13社 (8.9%)
12社 (7.9%)
収益率の低下
6社 (4.1%)
12社 (7.9%)
技術力不足
12社 (8.2%)
11社 (7.2%)
後継者の不在
3社 (2.1%)
6社 (3.9%)
ＩＴ化対応への遅れ
1社 (0.7%)
3社 (2.0%)
その他
1社 (0.7%)
0社 (0.0%)
0
20
40
60
80
令和3年度調査(146社)
今回調査(152社)

3. まとめ　いしかわの地域を支える建設業であるために

(1) 担い手の確保・育成

技術職、技能職が慢性的に不足している状況に加え、50代以上の就業者が約半数を占めており、就業者の高齢化が今後10年で更に進むと見られることから、若手就業者の増加は喫緊の課題である。しかし、新卒採用の充足率が約4割に留まる一方、入職から3年以内の離職率は約3割と高く、若手就業者の採用・定着は厳しい状況である。このため、各企業においては、積極的な採用活動、給与、休暇、福利厚生等の処遇改善、計画的な人材育成、組織全体でのサポートなどの取り組みを通じて、担い手の確保・育成を進める必要がある。

(2) 外国人労働者の受け入れ

外国人労働者の受け入れについては、言葉の問題や生活習慣、価値観の違いによるトラブルを懸念する声がある一方で、人手不足の緩和、社内の活性化が期待できることからも、コミュニケーションの確保や長期間雇用できる法整備など受け入れに向けた環境整備を検討する必要がある。

(3) 賃上げの促進

常用雇用者である現場職員（技術者・技能者）の賃上げ（給与総額）については、2021年度では8割超の企業が「引き上げた」と回答しており、2022年度についても8割程度の企業が「引き上げる」と回答している。担い手の確保・育成のためにも、所得と分配の好循環による経済成長の実現に向けて、賃上げを進めていく必要がある。建設企業が賃上げの原資として適正利益を確保できるようにするため、発注者には「市場の状況に応じた適正な予定価格の設定」、「契約変更への柔軟な対応」を引き続き求めていく。

(4) 建設現場における働き方改革の推進

2024年4月から「時間外労働の罰則付き上限規制」が建設業にも適用される。建設現場の休日拡大・確保に向けて、各企業における年間休日数の増加や週休2日の実現への取り組みは着実に進んでいるが依然として地域差が見られる状況である。このため、「目指せ週休2日＋360時間運動」を呼び掛けるとともに、各企業においても、賃金の引き上げ、職員の意識や能力の向上、生産性向上を目指したICTの導入などの取り組みが促進されるよう働きかけていく。また、発注者に対しては、週休2日制の実現に向けて、市町への拡大、適正な工期設定、適正な補正係数の設定に加えて、更なる発注・施工時期の平準化、書類の簡素化などを求めていく。

(5) 建設業における女性の活躍

多くの企業は女性の活躍が企業のイメージアップや社員の入職・定着に繋がると期待しているが、全就業者に占める女性の割合は約15％と依然低い状況である。また、教育訓練を実施する企業も増加しているが、女性活躍・子育て支援制度への取り組み実績のある企業は約5割にとどまっており、企業間の取り組みに差が見られる。女性活躍・子育て支援制度の内容を知らない企業や、女性活躍の必要性を感じないと回答する企業が増えていることから、女性部会「百万石小町『結』」の活動などを通じて、引き続き女性活躍に関する制度、活動の周知を図っていく必要がある。

(6) 資材高騰への対応

ロシアのウクライナ侵攻などの影響により、燃料、生コン、鉄筋など幅広い品目で価格高騰が発生している。調査時点で既に工事への影響が発生しているが、実勢価格の変化が予定価格の算定に反映していないとの意見が多く見られたため、発注者に対して実勢価格の変化が予定価格に適切に反映されること、スライド条項の申請を行いやすくすることを求めていく。また、民間発注者がスライド条項付きの契約書を使用し、資材高騰に伴う契約変更を認めるよう、関係機関等に対して指導を求めていく。

(7) 入札・契約制度の更なる改善

担い手の確保・育成、働き方改革の推進には経営の安定化が不可欠である。そのためには、企業の努力だけでなく、「持続的・安定的な予算の確保」と「工事ごとに利益の確保が可能な入札・契約制度の改善」が重要である。発注者によっては利益の出ない事例が見られることから、適正な予定価格の設定、契約変更への柔軟な対応等を求めていく。また、発注・施工時期の平準化、ワンデーレスポンス等の対応を十分理解していない発注者が多いことから、新・担い手3法の内容が全ての発注者に浸透し適用されるよう、引き続き、発注者に対して更なる入札・契約制度の改善を求めていく。

(8) 最後に（いしかわの地域を支える建設業であるために）

我が国は、新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻、急激な円安・物価高、大規模な自然災害の頻発等、様々な問題に直面しているが、本県建設業は県内就業者の約1割を占める基幹産業であり、社会資本整備・維持管理を通じて県民の生活や経済活動を支えるとともに、災害や除雪等に迅速に対応する「地域の守り手」としてその役割を果たしていかなければならない。

2024年4月から建設業にも「時間外労働の罰則付き上限規制」が適用される。将来の担い手確保・育成に向けて、引き続き、働き方改革と生産性向上を両輪として就労環境の改善に取り組んでいかなければならない。建設業の魅力を積極的に発信するとともに、建設業が新3K（給与・休暇・希望）に「かっこいい」を加えた新3K＋Kの魅力ある産業になれるよう、ICTの推進など積極的にインフラDXにも取り組むなど、若者から選択される職場づくりを目指して様々な取り組みを加速させていく。

委 員 会 の 開 催

土木委員会

◎正副委員長会議の開催

開催日時　令和5年4月17日(月)　12：00～14：30
開催場所　石川県建設総合センター
出 席 者　副委員長3名、事務局1名

概　要

6月上旬に開催の第1回役員会及び7月上旬～中旬に開催の第1回全体会議に関する議事内容及び欠員補充等について審議を行った。

〈審議事項〉

1. 全体会議（第1回）について
   ・開催日程及び開催会場
   ・議事次第（案）
2. 役員会（第1回）について
   ・開催日程及び審議事項
3. 委員の選任（欠員補充）について
   ・欠員補充及び所属部会
4. 令和4年度の活動報告及び決算報告について
5. 令和5年度の活動計画及び予算について
6. その他

土地改良委員会

◎正副委員長・部会長会議の開催

開催日時　令和5年4月14日(金)　13：30～14：30
開催場所　石川県建設総合センター
出 席 者　正副委員長5名、副部会長1名、事務局1名

概　要

岡田康晴委員長の挨拶に続き、以下について審議・報告し、今年度の方針を検討した。

〈審議事項〉

1. 令和5年度の主な取組方針
2. 令和4年度委員会費決算報告、令和5年度委員会予算（案）

〈報告事項〉

1. 令和4年度県農林水産部との意見交換会回答要旨
2. 令和5年度施工実態アンケート調査など

広報・研修委員会

◎企画部会の開催

開催日時　令和5年4月21日(金)　10：20～11：20
開催場所　石川県建設総合センター
出 席 者　正副委員長3名、部会員6名、事務局4名(リモート参加2名)

概　要

髙田直人委員長の挨拶に続き、下記事項について審議・報告が行われた。

〈議題〉

1. 協会報5月号について
2. 研修所からのお知らせ
   令和4年度事業報告
   新入社員研修の開催結果について
   測量コンテストの開催について
3. その他

安全・環境対策特別委員会

◎正副委員長会議の開催

開催日時　令和5年4月27日(木)　16：00～17：00
開催場所　石川県建設総合センター
出 席 者　副委員長3名、専務理事1名、事務局5名

概　要

事務局から、異動に伴う委員選任、所属部会、令和4年度活動報告、令和5年度活動計画等について報告及び審議が行われた。なお、5月30日(火)14時30分から石川県建設総合センターにおいて全体会議を開催することとした。

〈審議・報告事項〉

1. 委員の選任について
2. 令和4年度の活動報告について
3. 令和5年度の活動計画について
4. 第1回全体会議について
5. その他

建設技術研修所

◎新入社員向けIT講習会の開催

開催日時　令和5年4月6日(木)、7日(金)　9:00～17:00(第1回)

令和5年4月10日(月)、11日(火)　9:00～17:00(第2回)

開催場所　石川県建設総合センター

参 加 者　38名

概　要

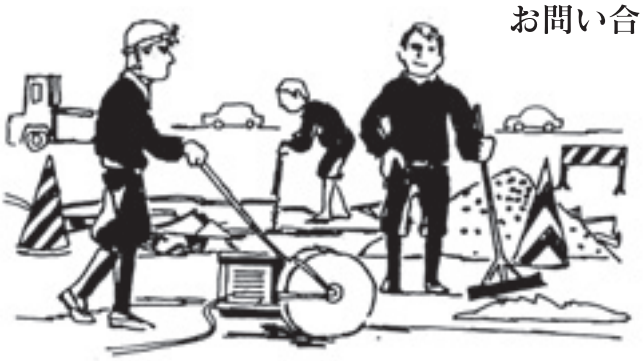
新入社員を対象としたIT講習会「これからの建設業で求められるIT活用研修」を開催した。講習は、Windows10の基本設定やGoogleを活用したクラウド環境の構築・ビジネスメール作成等、業務全般にわたって活用できる内容で行われた。

受講者からは「Google Driveの機能を今後も使いたいと思った。機会があれば広めたい。」「今回の受講を業務で活かしていきたい。」「ビジネスメール研修をもう少しやりたかった。」といった意見があった。来年度以降も開催予定。

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自　動　車　保　険

お問い合わせは・・・・・・



石川県総合建設業協同組合
損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社
TEL076-231-7786
FAX076-231-7766
〒920-0919　金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

◎遠隔臨場講習会の開催

開催日時　令和5年4月24日(月)　9:30～16:00

開催場所　小松能美建設業協会

参 加 者　15名

概　要

4月24日(月)、小松能美建設業協会にて遠隔臨場講習会を開催した。

遠隔臨場とはウェアラブルカメラ・モバイル端末等によるビデオ通話を用いた段階確認・材料確認及び立会を行うことで、国土交通省並びに石川県においても運用が始まっている。

当講習会はマイクロソフト社のTeamsを使用して、受講生を発注者役（会議室）と受注者役（現場・駐車場）の4チームに分け、発注者役はパソコンに映る現場の映像を基に確認したい事柄を受注者役に指示し、受注者役はその指示に従ってウェアラブルカメラ等を操作する実践形式で行われた。

〈今後の予定〉

5月15日(月) 金沢 9:30～16:00　　5月16日(火) 金沢 9:30～16:00

6月13日(火) 珠洲 9:30～16:00　　6月15日(木) 鳳輪 9:30～16:00

6月22日(木) 七尾 9:30～16:00　　6月23日(金) 七尾 9:30～16:00

◎第45回測量コンテスト開催案内

第45回測量コンテストを、下記の要項により開催します。今年度も企業個人戦に高校生チームが参加予定です。また各地区協会代表による団体戦も行いますので各地区協会には代表チームの選定をお願いいたします。このコンテストはCPD・CPDS（4ユニット）対象予定です。

・名　　称　第45回測量コンテスト

・目　　的　水準測量の基礎技術について競い合い、技術の向上を目指すとともに親睦をはかる。

・主　　催　一般社団法人石川県建設業協会

・共　　催　一般社団法人石川県測量設計業協会（講師・指導・審査の担当）

・開催日時　令和5年6月5日(月) 9:30～13:00（小雨決行）

　　受付開始　9:00～　雨天の場合6月9日(金)に順延します。

・開催場所　金沢市ものづくり会館　及び隣接　ふれあいゴルフ広場内

　　(金沢市粟崎町4-80-1　TEL：(076)255-1518)

・競技区分

競技区分	競技種目	参加チーム数
各地区協会代表による団体戦	水準測量	9チーム（各地区協会1チーム）
企業チーム・高校生チームによる個人戦	水準測量	約20チーム

・締 切 日　5月19日(金)

・参 加 料　1チーム3,000円。下記口座へお振込みください。

［振込先］　北國銀行　泉支店　(普)72026　石川県建設業協会技術研修所

・申し込み　(一社)石川県建設業協会　建設技術研修所　担当：本多

TEL：(076)242-1161　FAX：(076)241-9258

石川県土木施工管理技士会だより

第1回正副会長会議の開催

開催日時　令和5年4月11日(火)　11：00～13：00

開催場所　石川県建設総合センター

出 席 者　鶴山庄市会長、向出剛一副会長、岡田康晴副会長

事務局2名

概　要

鶴山庄市会長の挨拶に続き、下記事項について審議がおこなわれた。

1. 令和4年度の事業報告及び収支決算について
2. 令和5年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 令和5年度第1回役員会開催日程について
4. 令和5年度通常総会・講演会開催日程について
5. 令和5年度現場視察・研修会について
6. その他

業　界　時　報

労働災害発生状況
～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和5年分）　令和5年3月末　速報

業種別／署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	5	（1） 7	3	（1）15	（3） 7	170
小松監督署	1	（2） 3	3	（2） 7	（1） 9	64
七尾監督署	1	（2） 2	2	（2） 5	（1） 5	38
穴水監督署	3			3	1	26
計	10	（5）12	8	（5）30	（5）22	298
前年同期	6	（5）10	6	（5）22		302

（ ）内は木建工事　　○内は死亡者数

対前年同期比の増減　建設業：22件→30件【8件（36.4％）増加】　全産業：302件→298件【4件（1.3％）減少】

コロナウイルス感染症による死傷災害（3月末現在前年同期比）：建設業：4件→0件【4件減】、全産業：84件→64件【20件減】

令和4年度　建設工事受注高調（元請）

民　　間　**（単位100万円）**

	土　木			建　築			計		
	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%
1月分	159	85	187.1%	2,404	1,337	179.8%	2,563	1,422	180.2%
2月分	324	495	65.5%	1,013	1,087	93.2%	1,337	1,582	84.5%
3月分	663	111	597.3%	1,915	2,972	64.4%	2,578	3,083	83.6%
年度累計	3,873	2,390	162.1%	27,473	26,041	105.5%	31,346	28,431	110.3%
2年度累計		3,862	100.3%		18,841	145.8%		22,703	138.1%
元年度累計		3,089	125.4%		24,987	109.9%		28,076	111.6%

官 公 庁

	土　木			建　築			計		
	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%	令和4年度	令和3年度	%
1月分	2,383	1,931	123.4%	229	598	38.3%	2,612	2,529	103.3%
2月分	4,296	2,806	153.1%	313	1,218	25.7%	4,609	4,024	114.5%
3月分	10,422	9,927	105.0%	1,097	784	139.9%	11,519	10,711	107.5%
年度累計	56,549	49,536	114.2%	8,295	14,234	58.3%	64,844	63,770	101.7%
2年度累計		53,015	106.7%		24,623	33.7%		77,638	83.5%
元年度累計		53,522	105.7%		15,895	52.2%		69,417	93.4%

合　　計（民間＋官公庁）

	令和4年度	令和3年度	%
1月分	5,175	3,951	131.0%
2月分	5,946	5,606	106.1%
3月分	14,097	13,794	102.2%

	令和4年度	令和3年度	%
年度累計	96,190	92,201	104.3%
2年度累計		100,341	95.9%
元年度累計		97,493	98.7%

会 員 の 異 動

今回届け出があったのは次の3件でした。

○変更

会社名	変更前代表者	変更後代表者	変更年月日
(株)宮地組	笠田　健治	宮地　雄大	令和5年4月1日

○退会

地区	会社名	代表名	所在地	変更年月日
小松	(株)友真社	吉本　修一	小松市吉竹町5丁目101	令和5年3月31日
羽咋	飛弾組	飛弾　憲治	羽咋郡志賀町富来領家町ロ96乙	令和5年3月31日

なお、変更があった時点で届け出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和5年5月行事予定

5月 9日(火) ドローン講習会（③-1日目）（金沢市七曲地内）
10日(水) 令和4年度監査
11日(木) 高等学校就職問題連絡協議会　（石川県庁）
12日(金) 建築委員会役員会（第1回）
13日(土) ドローン講習会（③-2日目）（金沢市七曲地内）
14日(日) 歩いてみようのと里山海道（のと里山海道千鳥台）
15日(月) 遠隔臨場講習会（金沢）①
16日(火) 会報編集委員会
遠隔臨場講習会（金沢）②
17日(水) 理事会（建災防・協会・組合）
石川県土木施工管理技士会役員会
（ホテル日航金沢）
19日(金) 県建築士事務所協会定時総会
（ANAホリデイ・イン金沢スカイ）
22日(月) 広報・研修委員会企画部会
土地改良委員会第1回役員会
23日(火) ドローン講習会（④-1日目）（金沢市七曲地内）
石川県道路整備促進協会幹事会　（石川県庁）
25日(木) 青年委員会全体会議・親睦ゴルフ
（金沢市リンクス）
26日(金) 北陸地方整備局企画部との意見交換会
県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会（石川県庁）
27日(土) ドローン講習会（④-2日目）（金沢市七曲地内）
30日(火) 総会（建災防・協会・組合）
理事懇談会　（ホテル日航金沢）
31日(水) 建築委員会全体会議

令和5年6月以降の行事予定

6月 2日(金) 全国土木施工管理技士会連合会総会・表彰式
（東京　アルカディア市ヶ谷）
5日(月) 正副会長会議
常任理事会
測量コンテスト（予備日　6月9日）
（金沢市ものづくり会館及び周辺）
6日(火) 全建理事会　（東京　経団連会館）
土木委員会役員会
7日(水) 建設産業労働災害防止協会理事会
（東京　グランドプリンスホテル高輪）
8日(木) (公財)いしかわ緑のまち募金評議員会
（石川県庁）
15日(木) 石川県土木施工管理技士会総会・講演会
（石川県地場産業振興センター）
16日(金) 県建設産業連合会正副会長会議
20日(火) 県建設産業連合会監査
22日(木) 県建設産業連合会理事会・総会
23日(金) 全建理事会　（東京　建設会館）
26日(月) 工事監督者研修
28日(水) 全国建設産業連合会総会（東京　ルポール麹町）
7月 3日(月) 石川県建設産業労働災害防止大会
建設業経営講習会in能登2023
（能登空港内奥能登総合事務所会議室）
4日(火) 土木委員会全体会議
（ANAクラウンプラザホテル金沢）
5日(水) 正副会長会議
7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会
（金沢東急ホテル）
19日(水) 土地改良委員会全体会議
（ANAホリデイ・イン金沢スカイ）
土木委員会親睦ゴルフコンペ
8月30日(水) 北陸地区建設業協会専務理事・事務局長会議
（ホテル日航金沢）
9月14日(木) 全建理事会　（東京）
10月 2日(月) 北陸地区建設業協会会長会議（ホテル日航金沢）
4日(水) けんせつフェア北陸2023in金沢（～5日）
（石川県産業展示館4号館）
31日(火) 北陸地区建設業協会地域懇談会
（ホテル日航金沢）

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》
5月11日(木)　青年委員会：技術と魅力向上Ｓ視察研修
　　(～12日)
　16日(火)　青年委員会：技術と魅力向上Ｓ
　18日(木)　未来の担い手確保・育成Ｓ
　19日(金)　組合：通常総会
　　協会：定時総会
　　協会・組合役員合同懇親会
　23日(火)　建築部会：視察研修（～24日）
　28日(日)　クリーンビーチいしかわ

《お知らせ》
6月 6日(火)　組合：視察研修（～7日）
　23日(金)　第二回技術社員研修会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》
5月18日(木)　建災防加賀分会　会計監査
　24日(水)　協会・組合　定時総会
　31日(水)　献血奉仕活動

《お知らせ》
6月14日(水)　建災防加賀分会　総会
　28日(水)　協会　役員会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》
5月16日(火)　社員定時総会
　17日(水)　監理技術者講習会
　29日(月)　道路アドプト

《お知らせ》
6月 2日(金)　土木技術部会総会
　10日(土)　クリーンビーチこまつ

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》
5月16日(火)　定時総会
　24日(水)　理事会
　26日(金)　土のう備蓄作業ボランティア

河北郡市土建協同組合

《行事予定》
5月11日(木)　第58回通常総会議案審議　役員室
　18日(木)　第58回通常総会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》
5月18日(木)　土木・建築・青年各部会　役員会
　23日(火)　定時総会
　31日(水)　土木・建築・青年各部会　定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》
5月 9日(火)　令和4年度会計監査
　12日(金)　令和5年第1回理事会
　19日(金)　令和5年総会
　中旬　第1回土木委員会
　下旬　第2回土木委員会

《お知らせ》
8月 2日(水)　監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》
5月10日(水)　定時総会
　17日(水)　監理技術者講習会
　18日(木)　奥能登土木委員会　監事会　役員会　総会
　26日(金)　安全衛生講習会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》
5月12日(金)　珠洲建設業協会
　　珠洲建設業協同組合　通常総会
　18日(木)　奥能登土木委員会
　　監査　役員会　通常総会
　24日(水)、31日(水)
　　飯田高等学校　インターンシップ
　26日(金)　安全衛生講習会

「協会報」への随筆等投稿（お願い）

①随筆文字数　400字詰め原稿用紙3枚（1,200字以上）
②投稿の期日　毎月25日頃（翌月号の編集締切り）
③協会報の発行　毎月1日発行
　（毎月10日前後納入、会員送付）
④謝礼　投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161（代）内線40番